

---

## 内管工事資格制度

### 受講・受験案内【資格取得用】

---

受講・受験される方及び所属のガス事業者担当者の方へ

(1) 2023年度下期からの変更点

(i) 2023年10月1日から始まるインボイス制度に伴い、すべての講習種別・受講者を対象に領収書が発行されます。領収書は申請ガス事業者を通し、資格管理システムでダウンロードしてください。

(ii) eラーニングのURL及び、初期パスワードを変更しています。「4. eラーニングの受講」(P.19)をご参照ください。

2024年度版

一般社団法人 日本ガス協会

## 【目次】

I. 内管工事資格制度について	
1. 目的	1
2. 制度の概要	1
II. 資格の取得方法について	
1. 資格の取得方法	4
2. 講習による資格取得	4
3. 資格試験による資格取得	10
4. 講習・資格試験の開催日時及び受講・受験会場	14
III. 講習・資格試験の申込方法	
1. 受講・受験に必要な提出書式類	14
2. 受講・受験料の振込みについて	16
3. 受講・受験に必要な書式の提出について	18
4. eラーニングの受講	19
5. 受講・受験票の送付	25
6. 合否の発表	25
7. 受講・受験会場の変更等	26
IV. 受講・受験に必要な書式の作成について	
1. 受講・受験申込書を記入する際の注意事項	26
2. 講習受講申込書式記入例	31
V. 受講・受験者の注意すべき事項	
1. 講習を受講する際の注意事項	33
2. 資格試験を受験する際の注意事項	34
3. 講習テキストの購入申込み	35
VI. 受講・受験の取消による返金について	
1. 取消のための手続き	36
2. 宛名書式	37
3. 取消申込書記入例	38
VII. 振替申請について	
1. 振替申請のための手続き	39

2. 振替申請後の注意点	39
Ⅷ. 個人情報の取扱いについて	
1. 個人情報の管理について	39
2. 個人情報の利用目的について	39
Ⅸ. 受講・受験の際の注意事項	39

## I. 内管工事資格制度について

### 1. 目的

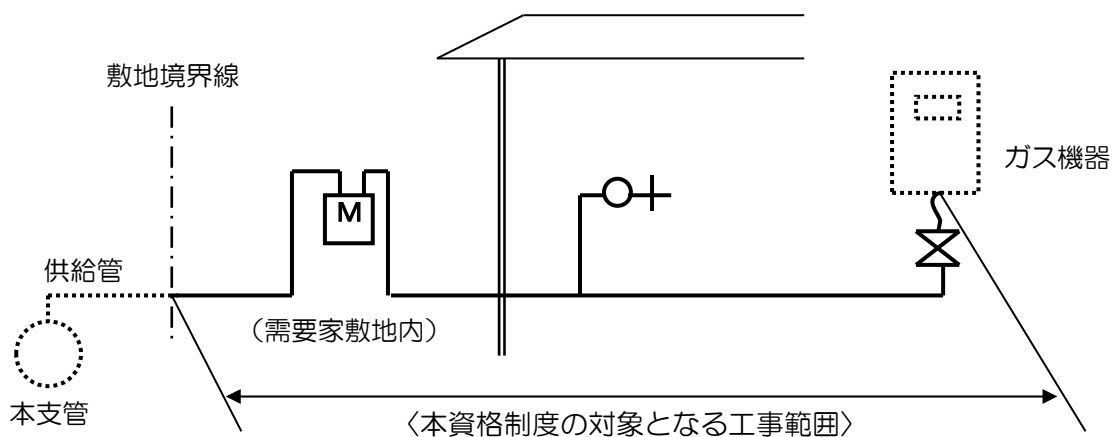
本資格制度は、ガス事業法に規定されたガス事業者の保安責任を果たすために、内管工事に従事する工事人が有すべきガス配管工事の知識・技能レベルに基づき業界統一で定めるものであり、その維持・向上を図り、内管工事の保安と品質が確保されることを目的とするものです。

### 2. 制度の概要

#### (1) 本資格制度の適用範囲

本資格制度は、都市ガスの内管工事（内管設備の新設・増設・変更・撤去工事、及びそれらの工事に伴うガスメーターの取付・取外し）及び可とう管によるガス栓とガス機器との接続工事に適用します。なお、次の工事は本資格制度の対象ではありません。（別途、ガス事業者の独自資格等が必要となります。）

- (i) 供給管工事（敷地内への引き込み工事、灯外内管との連絡又は切断工事（切断に伴う灯外内管の切り回し又はガスメーターの取付、取外し等を含む）も本資格制度の対象工事に含まない。）
- (ii) ガスメーターの検定満期取替工事（検定満期時のガスメーター取替に伴う配管の組替作業も本資格制度の対象ではありません。）
- (iii) 緊急修繕工事等
- (iv) 鋳鉄管の配管
- (v) ガスバッグ等によりガスの遮断を行う活管の切断取出工事
- (vi) 内管漏えい検査のために検圧口プラグ等を取付、取外しする工事



#### (2) 本資格制度の対象者

本資格制度の対象者は、内管工事に従事するガス事業者の指定工事店の工事人です。なお、ガス事業者の社員・職員も対象者とすることができます。



(3) 内管工事士の資格区分

本資格制度に基づく資格（以下「本資格」という。）を取得した工事人の名称は総称して「内管工事士」といいます。内管工事士の資格区分は、内管工事の種類、配管口径、圧力区分等によって「基本資格」として4つに区分され、さらに基本資格に対応した3つの「付加資格」があります（表1参照）。

表1 資格体系及び作業内容の概要

	付加資格	ねじ工事	活管工事	低圧溶接
基本資格	付加資格のもとでの作業内容 基本資格のもとでの作業内容	ねじ配管による露出*4の灯内内管工事*2	取出元管口径が基本資格に応じた口径以下の活管の取出工事	低圧及び15kPa以下の中間圧までの内管溶接工事*3
第3種内管工事士	既設需要家における低圧の口径32A以下のフレキ配管による灯内内管工事*1、*2	○	—	—
第2種内管工事士	低圧及び15kPa以下の中間圧までの口径50A以下の内管工事*2	—	○	—
第1種内管工事士	低圧及び15kPa以下の中間圧までの内管工事*2	—		○
内管溶接管理士	中圧Aまでの内管溶接工事*3	—	—	—

○：基本資格に応じて取得可能な付加資格

- \*1 第3種内管工事士は、灯外内管工事はできず、露出部に限り灯内内管工事ができる。但し、灯内内管のさや管を用いた埋設部へのフレキ配管工事ができる。
- \*2 第3種から第1種内管工事士までの基本資格のもとでの作業内容には、可とう管によるガス栓とガス機器との接続工事も含まれる。
- \*3 溶接の接合作業はできない。
- \*4 露出とは、埋設部以外の架空部及び隠ぺい部をいう。

(4) 内管工事士の業務範囲

第1種から第3種内管工事士及び付加資格のねじ工事・活管工事資格保有者は、内管工事の作業責任者として現場に常駐し、次の作業を行い、内管工事の保安と品質の確保に責任を持ちます。

- (a) 使用する材料の仕様、配管等の設置場所及び設置方法が適切であることの確認作業
- (b) 管・継手等を必要な寸法に切断及び接合のために加工する作業。並びに他の工事人がこれらの作業を行う場合の指示及び確認作業
- (c) 管・継手等を接合する作業、接合した管・継手等を建物等に固定する作業、及び接合された管・継手等を取り外す作業。並びに他の工事人がこれらの作業を行う場合の指示、作業の実地監督、作業手順、作業要領等及び作業完了後の状態が適切であることの確認作業
- (d) 工事完了後に行う耐圧試験、気密試験及びガスへの置換（パージ）作業。ただし、他の工事人に補助的な作業を行わせることができる。

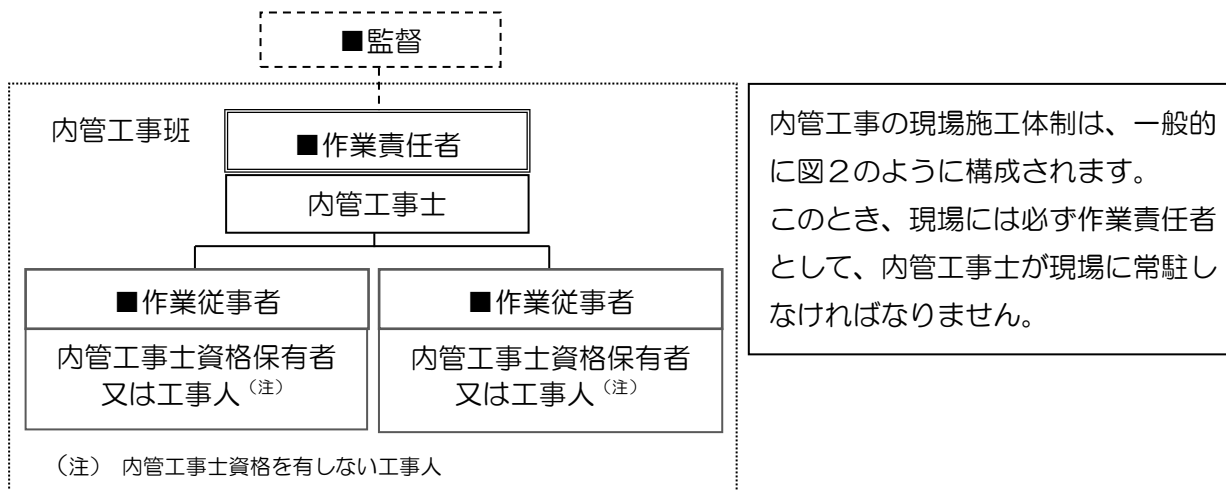


図2 内管工事の現場施工体制（例）

また、内管溶接管理士及び付加資格の低圧溶接資格保有者は、内管溶接工事の作業責任者として現場に常駐し、溶接士資格等を有した工事人などへの指示及び確認を行い、内管溶接工事の保安と品質の確保に責任を持ちます。業務範囲は(a)～(d)と同様ですが、本資格では、溶接の接合作業、溶接接合に伴う管・継手等の酸素・アセチレン等を用いて行う溶断及び開先加工する作業はできません。

(5) 資格の取得に必要な資格区分ごとの知識・技能範囲

講習や試験は、「一定の知識や技能」を有している方を対象に知識・技能の確認を行い、最終的に「資格者として有すべき知識・技能水準」を有していることが確認できた場合に資格を付与しております。

本資格制度の講習は、全ての知識・技能を基礎から応用まで教育するものではありません。従って、受講までの実務経験や公的資格などで、講義の内容を理解し、実技実習を實踐できる「一定の知識・技能」を受講者が有していることを前提としております。

また、講習や試験を申し込むにあたり、事前に別冊「受講要件として求める知識・技能の解説」の2ページから17ページに記載されている「資格者として有すべき知識・技能水準」をご確認ください。

## II. 資格の取得方法について

### 1. 資格の取得方法

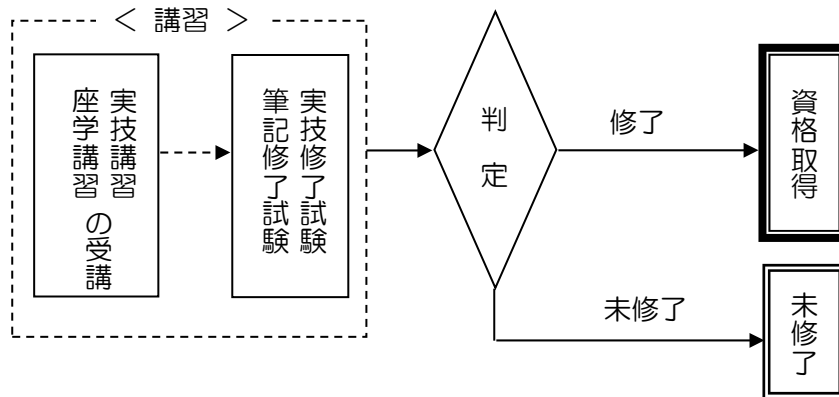
本資格の取得方法には、次の2つの方法があります。

- (1) 講習を受講し、講習を修了する
- (2) 資格試験を受験し、合格する

ただし、資格試験は基本資格の「第1種内管工事士」及び「第2種内管工事士」の2つの資格区分についてのみ実施します。

### 2. 講習による資格取得

#### (1) 講習の概要



講習は、「eラーニング」、「座学講習」、「実技講習」、「筆記修了試験」及び「実技修了試験」からなり、資格区分によって講習日数が異なります。

各資格区分の講習日数並びに「eラーニング」、「座学講習」、「実技講習」、「筆記修了試験」及び「実技修了試験」の有無については、次表のとおりです。

資格区分		日数	eラーニング	座学講習	実技講習	筆記修了試験	実技修了試験
基本資格	第3種内管工事士	3日	—	○	○	○	○
	第2種内管工事士	3日	○	○	○	○	○
	第1種内管工事士	2日	—	○	○	○	○
	内管溶接管理士	4日	—	○	○	○	—
	内管溶接管理士* (低圧溶接資格保有者等)	1日	—	○	—	○	—
付加資格	ねじ工事	1日	—	○	○	○	○
	活管工事	1日	—	○	○	○	○
	低圧溶接	1日	—	○	—	○	—

○：各資格区分において実施する項目

\*「内管溶接管理士」の講習は、受講要件により講習日数と申込回数が異なります。低圧溶接の資格を有している方、低圧溶接の講習を受講済みであるが受講結果が出ていない方、又は低圧溶接の講習と同時に申し込みを行った方は、「内管溶接管理士」の講習の4日目（中圧工事について）のみ受講すること（日数は1日）になります。受講要件にあった申込回数を選択してください。

(2) 講習の受講要件

講習を受講するには、申込日において各資格区分の受講要件のいずれかを満たしている必要があります。

	資格区分	受講要件
基 本 資 格	第3種 内管工事士	<p>①内管工事士のもとで6ヶ月以上の実務経験<sup>*1</sup>を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>②過去に第3種、第2種もしくは第1種内管工事士の資格を保有していたことがあり、かつ現在、受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>③次のいずれかの公的資格等を有していること</p> <p>1) 液化石油ガス設備士（液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の4）であって配管用フレキ管講習を受講済であること</p> <p>2) 1級又は2級配管技能士（職業能力開発促進法第44条及び同施行規則第61条第1項）</p> <p>3) 簡易内管施工士（日本ガス協会）</p> <p>4) ガス主任技術者（甲種、乙種又は丙種・ガス事業法第29条）</p> <p>5) 1級又は2級管工事施工管理技士（建設業法第27条及び同施行令第27条の3）</p>
	第2種 内管工事士	<p>①内管工事士のもとで、もしくは第3種内管工事士として計6ヶ月以上の実務経験<sup>*1</sup>を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>②過去に第2種もしくは第1種内管工事士の資格を保有していたことがあり、かつ現在、受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>③次のいずれかの公的資格を有していること</p> <p>1) 液化石油ガス設備士（液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の4）であって配管用フレキ管講習及びポリエチレン管の施工に係る講習を受講済又はPE管配管作業資格者登録証（日本コミュニティーガス協会）を所持していること</p> <p>2) 1級配管技能士（職業能力開発促進法第44条及び同施行規則第61条第1項）</p> <p>3) ガス主任技術者（甲種又は乙種・ガス事業法第29条）</p> <p>4) 1級管工事施工管理技士（建設業法第27条及び同施行令第27条の3）</p>
	第1種 内管工事士	<p>第2種内管工事士の資格が有効であり、内管工事士のもとで、もしくは内管工事士として計1年以上の実務経験<sup>*1</sup>を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p>
	内管溶接 管理士	<p>①内管溶接管理士の見習いとして1年6ヶ月以上の実務経験<sup>*1</sup>を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>②溶接士又は鉄工として3年以上の実務経験<sup>*1</sup>を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>③過去に内管溶接管理士を保有しており、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>④他設備工事における溶接配管工事の現場責任者として1年6ヶ月以上の実務経験<sup>*1</sup>を有しており、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること</p> <p>⑤低圧溶接の資格が有効であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること<sup>*5</sup></p> <p>⑥低圧溶接の講習と同時申込であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること<sup>*5</sup></p> <p>⑦低圧溶接の講習を受講済みであるが受講結果が出ていない状態であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能<sup>*2</sup>を有していること<sup>*5</sup></p>

付 加 資 格	ねじ工事	①第3種内管工事士の資格が有効であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ②第3種内管工事士講習と同時申込であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ③第3種内管工事士の講習を受講済みであるが、受講結果が出ていない状態であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること
	活管工事	①第2種内管工事士、第1種内管工事士又は内管溶接管理士の資格が有効であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ②第2種内管工事士、第1種内管工事士又は内管溶接管理士の講習を受講済みであるが受講結果が出ていない状態であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ③第2種内管工事士、第1種内管工事士又は内管溶接管理士の講習と同時申込であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ④第2種内管工事士又は第1種内管工事士の資格試験（実技試験）を受験済みであるが受験結果が出ていない状態であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ⑤第2種内管工事士又は第1種内管工事士の資格試験（実技試験）と同時申込であり、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること
	低圧溶接	第1種内管工事士の資格が有効であり、第1種内管工事士として6ヶ月以上の実務経験 <sup>*1</sup> を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること

\*1 実務経験とは講習の申込日までの経験期間をいいます。また、第2種、第1種の要件にある実務経験期間の計〇〇以上とは、当該資格を受講申込するまでの実務経験の合計期間をいいます。

\*2 受講要件として求める知識・技能は、資格ごとに定めておりますので、別冊「受講要件として求める知識・技能の解説」をご参照ください。

\*3 基本資格のうち第1種内管工事士、第2種内管工事士、及び第3種内管工事士は、重複して有することはできません。下位の資格を有する工事人が上位の資格を取得した場合は、上位の資格のみ有効となります。（ただし、「内管溶接管理士」は他の基本資格と重複して有することができます。）

\*4 付加資格はそれだけでは資格としては認められず、対応した基本資格（2ページ表1参照）を取得することにより付加資格も有効となります。本資格の講習もしくは資格試験と付加資格の講習を同時申込みしたが、付加資格の講習のみ修了し、対応する基本資格を取得することができなかった場合は、次年度末までに当該付加資格に対応する基本資格を取得した場合に限り、当該付加資格が付与されます。

\*5 「内管溶接管理士」の⑤、⑥、⑦の受講要件に該当する方は、「内管溶接管理士」の4日間の講習の4日目（中圧工事について）のみ受講すること（日数は1日）となります。受講要件にあった申込回次を選択してください。

#### ※再試験について

講習の筆記修了試験又は実技修了試験のいずれかが不合格となり講習未修了となった方は、不合格となった筆記試験又は実技試験を次年度末までに1回に限り受験することができ、当該試験に合格すれば資格を取得できます。なお、再試験については別冊の「内管工事資格制度 受験案内【再試験用】」をご参照ください。

(3) 講習の受講料

2024年度の講習受講料は次表のとおりです。受講料は、実技で使用する材料・道工具を講習機関が準備する場合と受講者が持参する場合の2通りあり、受講する講習機関により異なります。

なお、講習に使用する講習テキスト代金については、含まれておりませんので、講習テキストをお持ちでない方は、事前に運営機関から購入してください。（講習テキストの購入方法については、「Ⅴ. 受講・受験者の注意すべき事項」の「3. 講習テキストの購入申込み」をご参照ください。）

申込の前に、キャンセルについては「Ⅵ. 受講・受験の取消による返金について」を、申込書受理後の変更については「Ⅶ. 振替申請について」を参照してください。

資格区分		受講料（税込み）	材料・道工具
基本資格	第3種内管工事士	53,400円	講習機関が準備する
		30,400円	受講者が持参する
	第2種内管工事士	受講環境ありの場合*2 99,400円	講習機関が準備する
		受講環境なしの場合*2 100,500円	
		受講環境ありの場合*2 34,400円	受講者が持参する
		受講環境なしの場合*2 35,500円	
	第1種内管工事士	73,200円	講習機関が準備する
		21,000円	受講者が持参する
内管溶接管理士	36,700円	講習機関が準備する	
	31,500円	受講者が持参する	
内管溶接管理士 (低圧溶接資格保有者等*1向け)	12,600円	(実技なし)	
付加資格	ねじ工事	30,400円	講習機関が準備する
		12,600円	受講者が持参する
	活管工事	47,100円	講習機関が準備する
		24,100円	受講者が持参する
低圧溶接	11,500円	(実技なし)	

\*1 低圧溶接資格保有者等とは、低圧溶接の資格を有している者、低圧溶接の講習を受講済みであるが受講結果が出ていない者及び低圧溶接の講習と同時申込みの者をいいます。

\*2 第2種内管工事士はeラーニングによる事前学習が必要になります。受講申込の前にeラーニングの受講環境が整っていることを確認してください。受講環境の確認方法は19ページ「Ⅲ. 4. eラーニングの受講 (1)受講環境の確認」をご参照ください。なお、受講環境がない場合、事務手数料として1,100円が含まれた受講料になります。



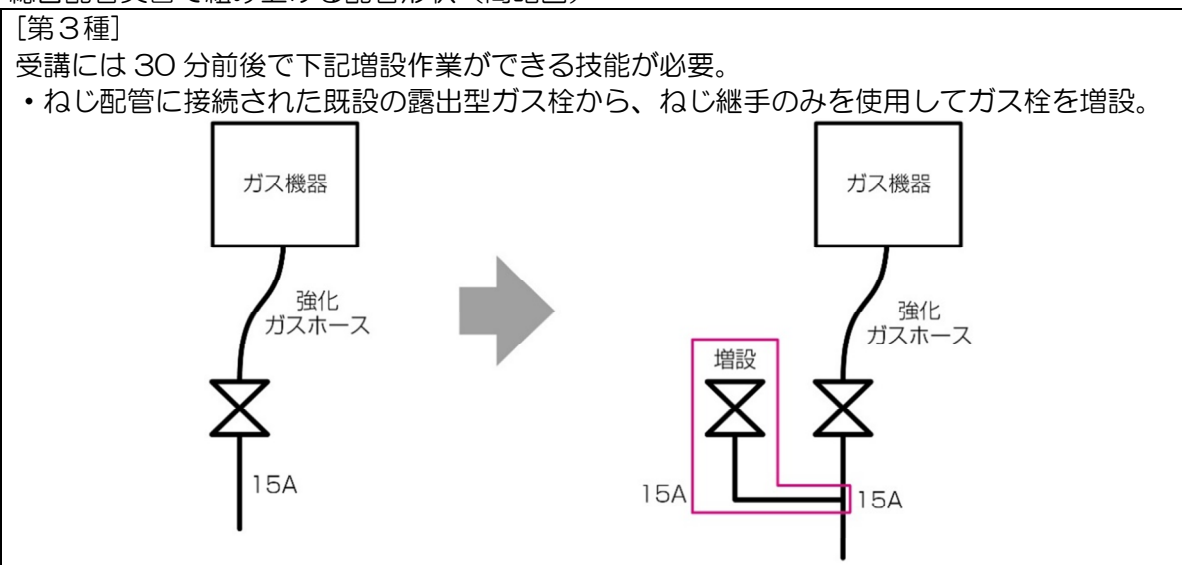
(4) 講習カリキュラムの概要

各資格区分の講習カリキュラムの概要は次表のとおりです。

資格区分	講習内容	講習時間*2	修了試験時間*3	
基本資格	第3種内管工事士	本資格制度の概要、第3種内管工事士の作業内容に応じた座学講習、及びフレキ配管によるガス栓増設を主とした実技講習*4	980分	130分
	第2種内管工事士	本資格制度の概要、第2種内管工事士の作業内容に応じたeラーニング・座学講習、及び各種配管工法による戸建新設配管工事を主とした実技講習*4	855分	265分
	第1種内管工事士	第1種内管工事士の作業内容に応じた座学講習、及び大口ねじ配管による実技講習*4	555分	170分
	内管溶接管理士	本資格制度の概要、内管溶接管理士の作業内容に応じた座学講習、及びフランジ接合の実技講習	1355分	150分
	内管溶接管理士 (低圧溶接資格保有者等*1向け)	上記4日間講習の4日目のみ (中圧工事について) (実技講習なし)	285分	45分
付加資格	ねじ工事	小口径ねじ配管に係る座学講習及び実技講習*4	205分	125分
	活管工事	鋼管・PE管・鋳鉄管からの穿孔取出の実技講習及び活管工事に係る安全教育	250分	75分
	低圧溶接	低圧溶接の作業内容及び溶接工法に係る座学講習(実技講習なし)	340分	45分

- \*1 低圧溶接資格保有者等とは、低圧溶接の資格を有している者、低圧溶接の講習を受講済みであるが受講結果が出ていない者及び低圧溶接の講習と同時申込みの者をいいます。
- \*2 オリエンテーション、休憩時間、eラーニングの受講時間は含まれておりません。
- \*3 修了試験の準備、審査、及び後片付けの時間は含まれておりません。
- \*4 実技講習では別冊「受講要件として求める知識・技能の解説」の表内の「必要な技能」に係る作業ごとに実習を行う他、複数の「必要な技能」を組み合わせた総合配管実習を行います。総合配管実習で組み上げる配管形状の簡略図を以下に示します。

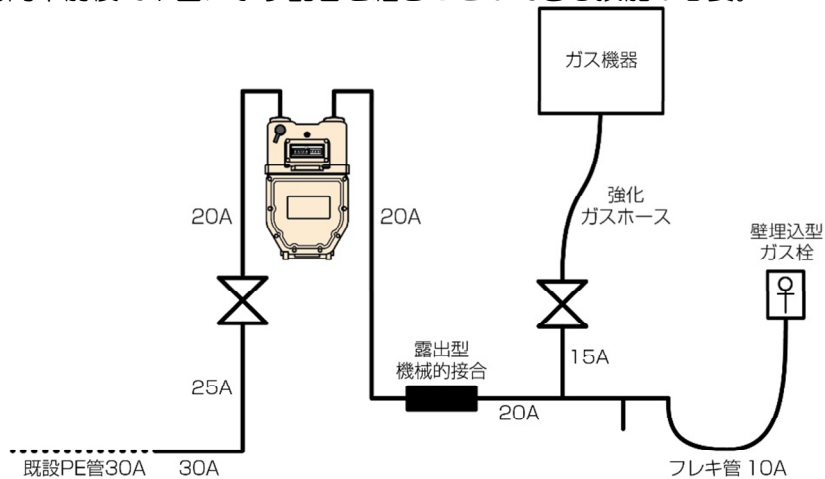
総合配管実習で組み上げる配管形状(簡略図)



総合配管実習で組み上げる配管形状（簡略図） つづき

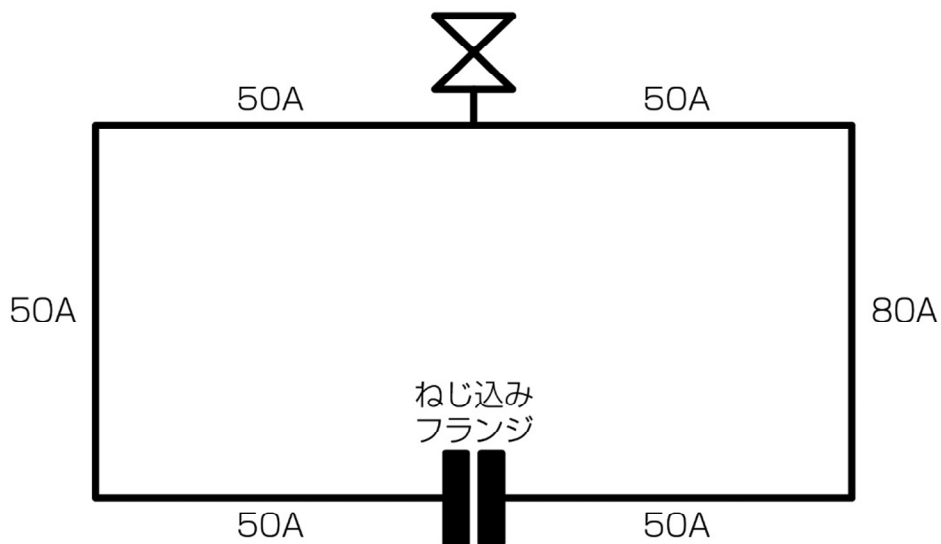
[第2種]

受講には3時間半前後で下図に示す配管を組むことができる技能が必要。



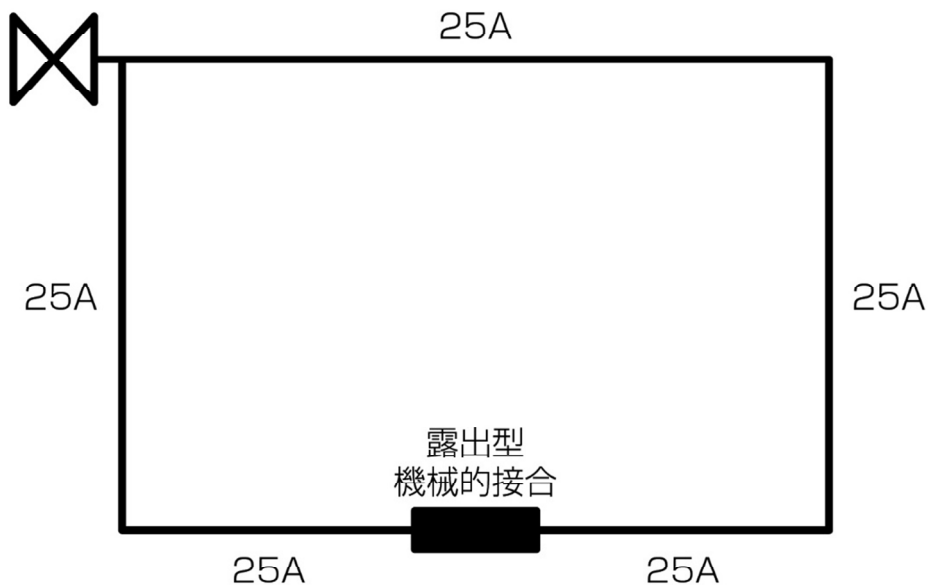
[第1種]

受講には2時間前後で下図に示す配管を組むことができる技能が必要。



[ねじ工事]

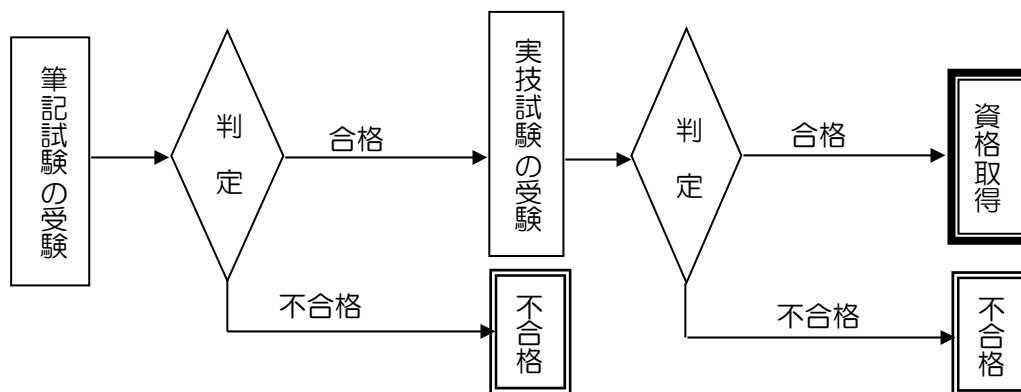
受講には1時間半前後で下図に示す配管を組むことができる技能が必要。





### 3. 資格試験による資格取得

#### (1) 資格試験の概要



資格試験は、「筆記試験」と「実技試験」からなり、「筆記試験」に合格した方が当該年度の「実技試験」を1回に限り受験できます。各資格区分の試験日数は、次表のとおりです。

ただし、第1種内管工事士の資格試験は、第2種内管工事士資格の有無により、2種類の受験パターンがあります。

資格区分	日数			
	筆記試験	実技試験		
		第2種内管工事士相当	第1種内管工事士相当	第1種内管工事士相当
第2種内管工事士	1日	1日	○	—
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有していない場合)	1日*1	2日*2	○	○
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有している場合)	1日*1	1日	免除*3	○

○：各資格区分において実施する実技試験の内容

\*1 「第1種内管工事士」の資格試験の筆記試験は、第2種内管工事士資格の有無により、出題範囲が異なります。

\*2 受験する講習機関又は回次によっては、「第2種内管工事士相当の内容」及び「第1種内管工事士相当の内容」を1日で行う場合があります。

\*3 「第1種内管工事士」の資格試験の実技試験は、「第2種内管工事士相当の内容」及び「第1種内管工事士相当の内容」からなりますが、「第2種内管工事士」の資格を既に有している方は、「第2種内管工事士相当の内容」が免除されます。

(2) 資格試験の受験要件

資格試験を受験するには、申込日において各資格区分の受験要件の**いずれか**を満たしている必要があります。

資格区分	受験要件
第2種内管工事士	①内管工事士のもとで、もしくは第3種内管工事士として計6ヶ月以上の実務経験 <sup>*1</sup> を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ②過去に第2種もしくは第1種内管工事士の資格を保有していたことがあり、かつ現在、受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>*2</sup> を有していること ③次のいずれかの公的資格を有していること 1) 液化石油ガス設備士（液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の4）であって配管用フレキ管講習及びポリエチレン管の施工に係る講習を受講済又は PE 管配管作業資格者登録証（日本コミュニティーガス協会）を所持していること 2) 1級配管技能士（職業能力開発促進法第44条及び同施工規則第61条第1項） 3) ガス主任技術者（甲種又は乙種・ガス事業法第29条） 4) 1級管工事施工管理技士（建設業法第27条及び同施行令第27条の3）
第1種内管工事士	①内管工事士のもとで、もしくは内管工事士として計1年以上の実務経験 <sup>*1</sup> を有していること

\* 1 実務経験とは講習の申込日までの経験期間をいいます。また、第2種、第1種の要件にある実務経験期間の計〇〇以上とは、当該資格を受験申込するまでの実務経験の合計期間をいいます。

※再試験について

資格試験において、筆記試験に合格し当該年度の実技試験に不合格となった又は当該年度の実技試験を受験しなかった工事人は、次年度末までに開催する資格試験において筆記試験が免除され、1回に限り実技試験のみを受験することができ、当該実技試験に合格すれば資格試験合格として資格を取得できます。なお、再試験については別冊の「内管工事資格制度 受験案内【再試験用】」をご参照ください。

### (3) 資格試験の受験料

資格試験の受験料は次表のとおりです。実技試験の受験料は、使用する材料・道工具を講習機関が準備する場合と受験者が持参する場合の2通りあり、受講する講習機関により異なります。申込の前に、キャンセルについては「Ⅵ. 受講・受験の取消による返金について」を、申込書受理後の変更については「Ⅶ. 振替申請について」を参照してください。

資格区分		受験料（税込み）	材料・道工具
筆記試験	第2種内管工事士	6,200円	(実技なし)
	第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有していない場合)		
	第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有している場合)		
実技試験	第2種内管工事士	39,900円	講習機関が準備する
		13,700円	受験者が持参する
	第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有していない場合)	62,900円	講習機関が準備する
		13,700円	受験者が持参する
	第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有している場合)	37,800円	講習機関が準備する
		11,600円	受験者が持参する

### (4) 資格試験の方法

#### (a) 筆記試験

資格区分	解答方式	試験時間
第2種内管工事士	択一による記述方式	60分
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有していない場合)*1		105分
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有している場合)*1		45分

\*1 「第1種内管工事士」の資格試験の筆記試験は、第2種内管工事士資格の有無により、出題範囲が異なります。

#### (b) 実技試験

資格区分	試験時間
第2種内管工事士	205分
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有していない場合)*1	330分*2
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有している場合)*1	125分

\*1 「第1種内管工事士」の資格試験の実技試験は、「第2種内管工事士相当の内容」及び「第1種内管工事士相当の内容」からなりますが、「第2種内管工事士」の資格を既に有している方は、「第2種内管工事士相当の内容」が免除されます。

\*2 受験する講習機関又は回次によっては、「第2種内管工事士相当の内容」及び「第1種内管工事士相当の内容」を1日で行う場合があります。

(5) 資格試験における試験科目

(a) 筆記試験

筆記試験は、次に掲げる科目の範囲内から、各資格区分の業務範囲に応じた内容を出題します。別冊「受講要件として求める知識・技能の解説」の2ページから17ページに記載されている「資格者として有すべき知識・技能水準」を参考としてください。

(i) 内管工事資格制度について

➤本資格制度の概要及び業務範囲について

(ii) 都市ガスの基礎について

➤都市ガスの種類と性状、燃焼と爆発、ガス機器との適合性、供給方式、建物区分の概要、マイコンメーターの構造・機能、ガス警報器、ガス栓とガス機器の接続及びガス機器の給排気設備などについて

(iii) 内管工事の基礎について

➤内管工事の設計上の技術基準及び施工上の留意点について

(iv) 工事災害の防止について

➤ガス事故の防止、労働災害の防止について

(b) 実技試験

実技試験は、各資格区分の業務範囲に応じた内容を出題します。別冊「受講要件として求める知識・技能の解説」の2ページから17ページに記載されている「資格者として有すべき知識・技能水準」を参考としてください。

<資格試験の実技試験>

資格区分	作業内容の概要*2
第2種内管工事士	第2種内管工事士の業務範囲に応じた技能を確認する内容
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有していない場合)*1	第1種内管工事士の業務範囲に応じた技能を確認する内容 (第2種内管工事士の業務範囲に応じた技能を確認する内容を含む。)
第1種内管工事士 (第2種内管工事士資格を有している場合)*1	第1種内管工事士の業務範囲に応じた技能を確認する内容

\*1 「第1種内管工事士」の資格試験の実技試験は、「第2種内管工事士相当の内容」及び「第1種内管工事士相当の内容」からなりますが、「第2種内管工事士」の資格を既に有している方は、「第2種内管工事士相当の内容」が免除されます。

\*2 受験する講習機関によって、使用する圧力測定器具と材料が異なる場合があります。各講習機関の使用する圧力測定器具及び主な材料の種類については、別冊の「講習・資格試験・更新講習実施予定表」の「講習機関別主な材料等一覧表」をご参照ください。なお、年度途中で材料等が変更となる場合があります。受講・受験の際には受講票・受験票と同送されるリストをもとにした準備が必要となります。

#### 4. 講習・資格試験の開催日時及び受講・受験会場

各講習機関における講習・資格試験の開催日時及び受講・受験会場については、別紙※「会場案内図」をご参照ください。

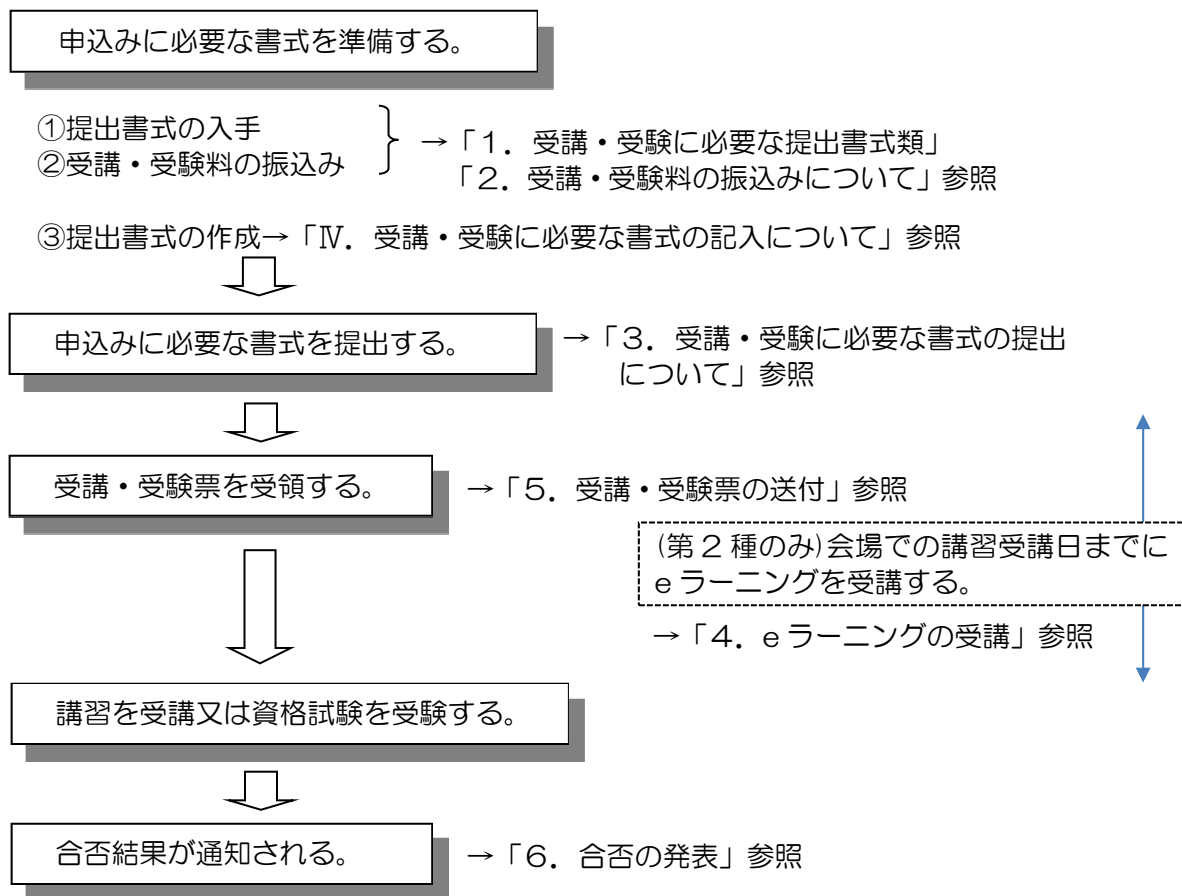
※以下のとおり公開されているので、申込ガス事業者にてご用意ください。

講習・資格試験実施予定表：資格管理システムで公開

会場案内図：日本ガス協会正会員ホームページ

### Ⅲ. 講習・資格試験の申込方法

#### 受講・受験の申込みから合否結果の通知までの流れ



#### 1. 受講・受験に必要な提出書式類

##### (1) 講習の受講に必要な提出書式類

講習の受講に必要な提出書式は、次のものです。なお、(a)、(c)、(e)については、所属するガス事業者より最新版を入手してください。

##### (a) 講習受講申込書【「資格取得要領」様式1、様式2】

受講する資格区分ごとに専用の Excel 様式を使用してください。

➤受講要件の証明欄に次の内容についての記入をしてください。

- (i) 指定工事店名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）
- (ii) ガス事業者名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）

➤受講・受験要件によっては、講習受講申込書、資格試験（筆記試験）受験申込書の「内管工事等に関する実務経歴書\*」及び「誓約書\*」の記入が必要です。

(b) 該当する公的資格の免状又は資格証の写し

（実務経験に代わる公的資格により受講する場合）

- (a)の講習受講申込書(Excel 様式)に画像をJPGファイルとして添付する。※
- 最新の公的資格の受講日等の記載分の写しも講習受講申込書に画像をJPGファイルとして添付する。※

(c) ガス事業者が承認した溶接配管工事に関する実務経歴書【「資格取得要領」様式3】

（「内管溶接管理士」を他設備工事における溶接配管工事の現場責任者として1年6ヶ月以上の実務経験を有していることを受講要件として受講する場合のみ提出が必要です。）

- ガス事業者名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）の記入をしてください。

(d) **必須** 受講料を納付したことを証する書面（振込みの控え）

- (a)の講習受講申込書(Excel 様式)に画像をJPGファイル(PDFでも可)として添付する※。

(e) 受講・受験料振込内訳書【「資格取得要領」様式4】

（受講料を指定工事店等が複数の申込書の分をまとめて振り込んだ場合）

- この場合、(d)の「受講料を納付したことを証する書面（振込みの控え）」の画像をJPGファイルとして全ての申込様式に添付する※、また本内訳書(Excel 様式)を該当する受講申込全てに付してください。※
- ガス事業者名の記入が必要です。備考欄に対象者名を記載してください。

(f) **必須** 目元が鮮明に写っている顔写真画像1枚（申込日前6ヶ月以内に撮影した無帽、無背景のもの）写真が基準を満たしていない場合、申込書を返却させていただきます。不備となる写真の事例は「(◎お申込み中使用する写真について◎ 29ページ 参照)」を参考としてください。申込書返却中に、希望回次が定員に達した場合は別の回次を選択していただくこととなりますので、予めご了承ください。

- (a)の講習受講申込書(Excel 様式)に画像をJPGファイルとして添付する※

(2) 資格試験の受験に必要な提出書式類

資格試験の受験に必要な提出書式類は、次のものです。なお、(a)、(d)については、所属するガス事業者より最新版を入手してください。

(a) 資格試験（筆記試験）受験申込書【様式5、6、7】又は資格試験(実技試験)受験申込書【様式8、9、10】

- 受講要件の証明欄に次の内容についての記入が必要です。
  - (i) 指定工事店名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）
  - (ii) ガス事業者名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）
- 該当する受講・受験要件によっては、講習受講申込書、資格試験（筆記試験）受験申込書にある「内管工事等に関する実務経歴書」欄及び「誓約書」欄への記入が必要です。

- (b) 該当する公的資格の免状又は資格証の写し  
(実務経験に代わる公的資格により資格試験(筆記試験)を受験する場合)  
➤最新の公的資格の受講日等の記載分の写しが必要です。  
➤資格試験(筆記試験)受験申込書(Excel 様式)に画像をJPGファイルとして添付してください※  
➤実技試験の受験申込みに際しては必要ありません。
- (c) **必須** 受験料を納付したことを証する書面(振込みの控え)  
➤資格試験受験申込書(Excel 様式)に画像をJPGファイル(PDFでも可)として添付してください。※
- (d) 受講・受験料振込内訳書【「資格取得要領」様式4】  
(受験料を指定工事店等が複数の申込書の分をまとめて振り込んだ場合)  
➤この場合、(c)の「受験料を納付したことを証する書面(振込みの控え)」は、(Excel 様式)に画像をJPGファイルとして添付してください※また本内訳書(Excel 様式)を該当する受講申込全てに添付してください。※  
➤ガス事業者名の記入が必要です。備考欄に対象者名を記載してください。
- (e) **必須** 目元が鮮明に写っている顔写真画像1枚(申込日前6ヶ月以内に撮影した無帽、無背景のもの)写真が基準を満たしていない場合、申込書を返却させていただきます。不備となる写真の事例は「(◎お申込みに使用する写真について◎ 29ページ 参照)」を参考としてください。申込書返却中に、希望回次が定員に達した場合は別の回次を選択していただくこととなりますので、予めご了承ください。  
➤受講申込書(Excel 様式)に画像をJPGファイルとして添付してください※

(注意事項): ※に関しては、受講・受験申込書の申請がシステム化されたことに伴う提出方法となります。後述の「3. 受講・受験に必要な書式の提出について」をご覧ください。

なお、申込書(Excel 様式)の記入方法やガス事業者への提出方法については、別紙の「内管工事資格制度受講申請システムの概要【工事店向け】」を合わせてご覧ください。

## 2. 受講・受験料の振込みについて

受講・受験を申し込む資格区分の受講・受験料を算出し、所定の銀行口座へ振り込んでください。

なお、振込手数料は受講・受験申込者のご負担となりますのでご了承ください。

### (1) 受講・受験料(振込金額)の算出方法

「Ⅱ. 資格の取得方法について」における講習・資格試験の受講・受験料を参照し、受講・受験料(振込金額)を算出してください。基本資格と付加資格を同時に申し込む場合等、複数の申込書の分を同時に申し込む場合は、全て合計して振込金額を算出してください。

<受講・受験料(振込金額)の算出例>

例) 材料・道工具は受講者が持参の回次に申込する場合

※金額については「Ⅱ. 資格の取得方法について」参照

(a) 基本資格のみを申し込む場合

➢第3種内管工事士の講習を、材料・道工具は受講者が持参にて申し込む場合

「第3種内管工事士講習の受講料：30,400円(税込み)」であるから、受講料(振込金額)は30,400円となる。

例) 材料・道工具は講習機関が準備の回次に申込する場合

(b) 基本資格と付加資格を同時に申し込む場合

➢第3種内管工事士の講習及びねじ工事の講習を、材料・道工具は講習機関が準備にて申し込む場合

「第3種内管工事士講習の受講料：53,400円(税込み)」、

「ねじ工事講習の受講料：30,400円(税込み)」、であるから、

受講料(振込金額)は53,400円+30,400円=83,800円となる。

## (2) 振込方法

(a) 次の口座へ振り込んでください。

口座名	一般財団法人 日本ガス機器検査協会	内管工事資格
お振込先	三菱UFJ銀行	志村坂上支店
普通口座	口座番号	1156767

注意事項：2020年度より上記振り込み先を一元化し、ゆうちょ銀行の口座は廃止いたしましたのでご注意ください。誤って振込した場合は、ゆうちょ銀行から差戻しとなりますので、ご注意ください。

\*振込みの控えに、①振込み日、②振込み依頼人名、③振込元の金融機関名の3点が記載されていない場合は、必ず余白にご記入ください。(インターネットバンキングをご利用の場合は特にご注意ください。)

(i) 各銀行の振込依頼書を使用する場合\*

銀行から手渡される振込金受取書等\*を講習受講申込書式、資格試験(筆記試験)受験申込書式、又は資格試験(実技試験)受験申込書式に添付してください。

(ii) ATM(現金自動預入支払機)を利用する場合\*

機械(ATM)からでてくる「ご利用控え\*」用紙のコピーを講習受講申込書、資格試験(筆記試験)受験申込書、又は資格試験(実技試験)受験申込書に添付してください。

(iii) ネットバンキングを利用する場合

「振込人名義」(個人名又は法人名)が記載されている「振込が完了したことを確認できる画面\*」を印刷し、申込書式に添付してください。(ただし、振込人名義及び金融機関のフルネ



ームが記載されていない場合、振込人名義及び金融機関のフルネームが明確にわかるように「振込が完了したことを確認できる画面」を印刷した用紙に記入してください。）

正しく入金完了が完了されていなかった場合、未入金扱いとなり申込書が受理できなくなりますのでご注意ください。なお、「振込が完了したことを確認できる画面」印刷の控えは、大切に保管してください。

### (3) 受講・受験料の返却

受講・受験料は、申込書が受理できない場合、又は当協会の責に帰する場合は手数料を差し引いて受講・受験料を返金します。

キャンセルについては「Ⅵ. 受講・受験の取消による返金について」を、申込書受理後の変更については「Ⅶ. 振替申請について」を参照してください。

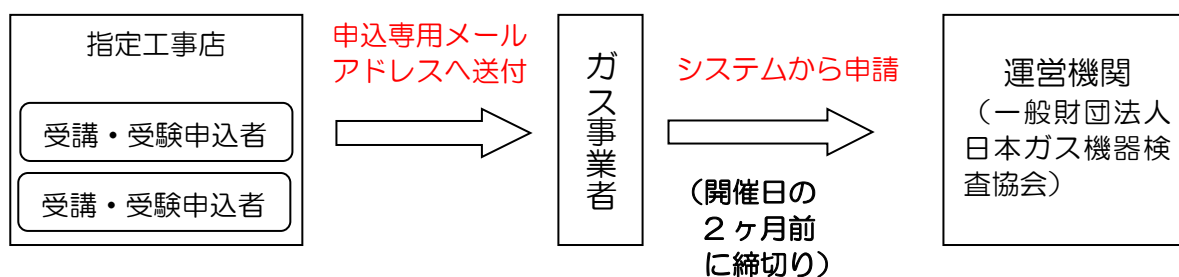
### (4) 領収書の発行

2023年10月より、すべての講習種別・受講者を対象に領収書を発行します。領収書は申請ガス事業者を通し、資格管理システムでダウンロードしてください。

## 3. 受講・受験に必要な書式の提出について

### (1) 書式の流れ

＜申し込み書式の流れ＞



### (2) 書式の提出先

受講・受験申込者は、受講・受験に必要な書式を指定工事店経由でガス事業者へ専用メールアドレスへ送付願います（メールの宛先は所属のガス事業者を確認願います）。

その後、申込ガス事業者から運営機関へ資格管理システムにより申請が行われ、申し込み完了となります。

なお、ガス事業者以外からの申込みは一切受けません。

### (3) 書式の提出期限

ガス事業者から運営機関への申し込みは、講習・資格試験の開催日の2ヶ月前の同日（土曜、日曜、祝日、休日の場合には、その前日）が締切りになります。

※ 指定工事店（受講・受験申込者）がガス事業者に書式を提出する際の提出期限については、所属するガス事業者にご確認ください。

## 4. eラーニングの受講

第2種内管工事士の資格取得講習は、eラーニングによる事前学習が必要になります。会場での座学講習の内容は、eラーニングで学習した内容の補足と、工事災害の防止に関するカリキュラムのみですので、下記要領に則り、会場での講習初日までに必ずeラーニングを受講してください。なお、eラーニングの受講環境が無い方は(7)を参照ください。

### (1) 受講環境の確認

- 受講の申込前に、下記手順で受講環境確認用サイトに接続し、eラーニングの受講環境が整っていることを確認してください。
- インターネットに接続できるPCまたはスマートフォンを用意できない場合、または、受講環境確認用サイトで、正常に受講できない場合は、「(7)受講環境がない方」に則り、受講してください。

#### 【確認手順】

1. インターネットに接続できるPCまたはスマートフォンで受講環境確認用サイト（下記URL）に接続する。

<https://www.i-netschool.com/naikankouji-shikaku/>

（接続方法①）右のQRコードを読み取って接続する。

（接続方法②）直接URLを入力する。

**<要注意！>**

PCで直接URLを入力する場合、特に以下の内容に注意してください。



#### 入力する部分について

画面上部の赤枠部分（赤い矢印の先端部分）にURLを入力してください。

検索ボックス（赤い×印部分）に入力すると、ログイン画面が正しく表示されません。

<p>Edgeの場合</p>	<p>Yahooの場合</p>
<p>Googleの場合</p>	<p>正しいログイン画面</p>

#### 正しいログイン画面

正しいログイン画面には、eラーニングに関するお問い合わせの電話番号が記載されています。ログイン画面に電話番号が記載されていない場合は、別のページを表示している可能性が非常に高いので、再度上記の入力部分に入力して画面遷移をお試しください。

2. 受講環境確認用サイトにログインする。(確認用 ID のパスワードは変更しないでください)  
 ユーザーID : check1234  
 パスワード : Check1234567 (最初の C は半角大文字)
3. トップ画面左上の e ラーニングをクリックする。



4. 講座名「動作確認用講座」をクリックする。
5. 動画を確認する。
  - ①学習項目「【動画】動作確認」をクリックする
  - ②再生ボタンを押して、動画再生されるか確認する
6. テストを確認する。
  - ①テスト名「【理解度テスト】動作確認」をクリックする
  - ②説明文を読み、画面上の「進む」をクリックする
  - ③問題に回答し、画面上の「採点」をクリックする  
 (テストの採点結果(点数)がメッセージで表示されます)
  - ④上記表示を消去すると、各問題の自身の解答に対する採点結果が表示されるので確認する  
 (自身の解答が「●」にて表示され、「●(青色)」が正解で、「●(赤色)」が不正解です。
    - ・画面上の「解説」をクリックすると解説が確認できます。  
 (正解の選択肢「●(青色)」と解説が表示されます)
    - ・画面上の「正解」をクリックすると正解が確認できます。  
 (正解の選択肢「●(青色)」が表示されます)
  - ⑤画面上の「終了」をクリックする

【推奨環境】

デバイス		OS	ブラウザ
パソコン		Windows10 Windows11	・ Google Chrome 最新版 ・ Microsoft Edge 最新版
スマートフォン	iPhone	iOS13 以上	Safari 最新版
	Android	Android10.0 以上	Google Chrome 最新版

【e ラーニングに関する問い合わせ先】

日本ガス協会 e ラーニング事務局 (関西ビジネスインフォメーション株式会社)

メールアドレス : i-net@kbinfo.co.jp

電話番号 : ログイン画面に記載しています。

受付時間 : 平日9時~17時30分 (12時~13時は除く)

※お名前、ユーザーID (不明な場合はなしでも結構です)、会社名をご連絡ください。

(2) 講習テキストの入手

- ・e ラーニングの受講時に講習テキスト (「制度編・基礎編」、「実務編」ともに) を使用しますので、事前に入手してください。
- ・講習テキストの購入方法は 35 ページ「V. 3. 講習テキストの購入申込み」をご参考ください。  
 なお、既に講習テキスト (表紙に[2018年3月改訂]とあるもの) を所有している場合は、新たに購入する必要はありません。

(3) 受講期間

- ・会場での講習受講日の約 1 ヶ月前 (1 ヶ月前が土日祝日の場合は翌営業日) から受講できますので、会場での講習初日までに受講して下さい。なお、講習最終日まで受講することができます。

#### (4) 受講用 ID 及びパスワード

- 受講用 ID とパスワードはそれぞれ以下のとおりです。

受講用 ID：8桁の受講番号 + 2024

パスワード：Jia + 生年月日（数字 8 桁）+ 年度（数字 4 桁）

※最初の“J”は半角大文字。

（パスワードの例：1981 年 8 月 4 日生まれの場合は「Jia198108042024」）

パスワードは初回ログイン時に変更していただく仕様となっております。（英字の大文字・小文字、数字を各 1 文字以上含んで 12 桁以上）

※5 回連続でパスワードを間違えるとアカウントがロックされます。しばらく時間をおいてから、再度ログインください。

- 会場での講習受講日の約 1 ヶ月前に 8 桁の受講番号が発行されますので、申込ガス事業者を確認してください。

#### 【申込ガス事業者へのお願い】

会場での講習受講日の約 1 ヶ月前に、受講管理システム上で 8 桁の受講番号が発行されますので、できるだけ早急に受講者に受講番号をお伝えください。

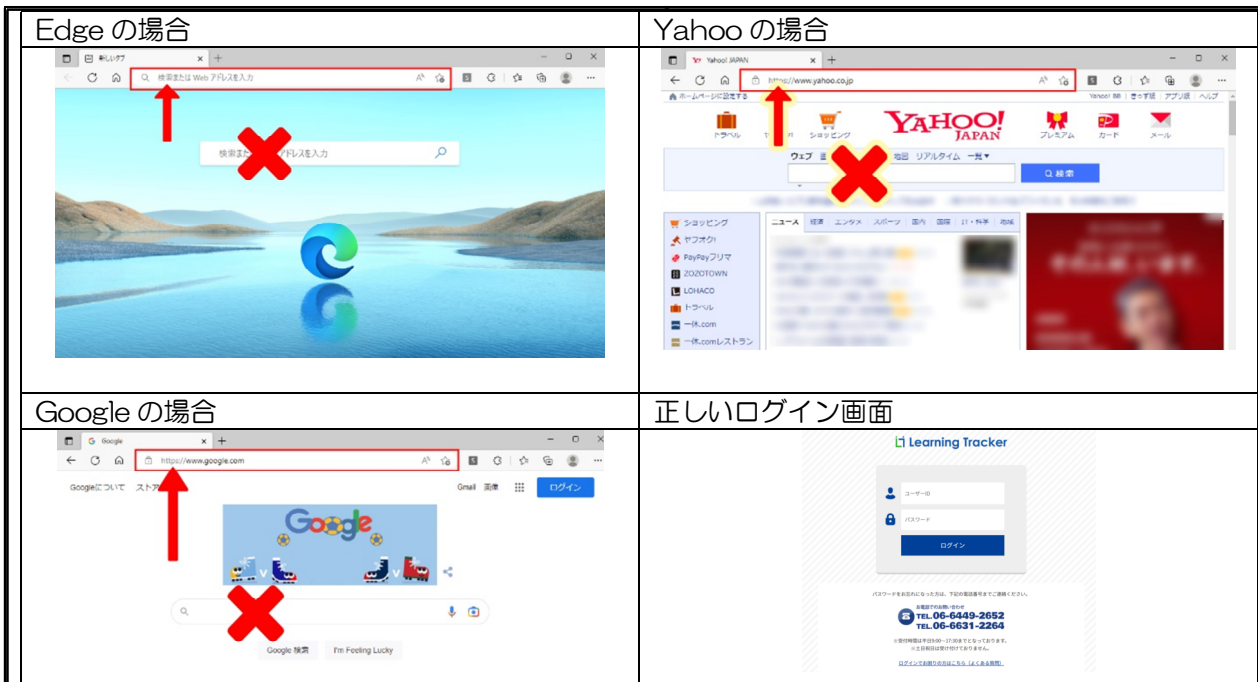
#### (5) 受講手順

- お手元に講習テキストをご用意のうえ下記手順で受講してください。
- 各カリキュラムは映像教材と理解度テストで構成されています。理解度テストはその場で採点され、解答の解説も確認することで理解が深められる構成になっています。
- カリキュラムを最後まで受講すると、**重要事項を集めた模擬試験**を受験することができます。

#### 【受講手順】

1. インターネットに接続できる PC またはスマートフォンで eラーニングのサイト（下記 URL）に接続する





<https://www.i-netschool.com/naikankouji-shikaku/>

(接続方法①) 右の QR コードを読み取って接続する。

(接続方法②) 直接 URL を入力する。

**<要注意！>**

PC で直接 URL を入力する場合、特に以下の内容に注意してください。

### 入力する部分について

画面上部の赤枠部分 (赤い矢印の先端部分) に URL を入力してください。

検索ボックス (赤い×印部分) に入力すると、ログイン画面が正しく表示されません。

### 正しいログイン画面

正しいログイン画面には、e-ラーニングに関するお問い合わせの電話番号が記載されています。ログイン画面に電話番号が記載されていない場合は、別のページを表示している可能性が非常に高いので、再度上記の入力部分に入力して画面遷移をお試しください。

### 2. 受講用 ID 及びパスワードを入力しログインする

※受講用 ID 及びパスワードは「4. (4) 受講用 ID 及びパスワード」を参照してください。パスワードは初回ログイン時に変更していただく仕様となっております。(英字の大文字・小文字、数字を各 1 文字以上含んで 12 桁以上)

### 3. トップ画面左上の e ラーニングをクリックする



### 4. テキストのダウンロードページから、テキストをダウンロードする





## 5. カリキュラム一覧の上から順番に受講する

内管工事資格制度 更新講習カリキュラム			戻る
未受講	はじめに	--	
受講不可	1. 内管工事資格制度(15分55秒)	--	
受講不可	2. 事故・災害の防止(9分21秒)	--	
受講不可	3. 内管工事の基礎と重要性 (1)工事計画(11分26秒)	--	
受講不可	3. 内管工事の基礎と重要性 (2)事前確認(8分59秒)	--	
受講不可	3. 内管工事の基礎と重要性 (3)作業手順(ねじ接合)(11分28秒)	--	
受講不可	3. 内管工事の基礎と重要性 (4)作業手順(7分46秒)	--	
受講不可	3. 内管工事の基礎と重要性 (5)確認作業(8分39秒)	--	
受講不可	3. 内管工事の基礎と重要性 (6)施工可能範囲の遵守(10分16秒)	--	
受講不可	4. 近年の自社工事事故の傾向(50秒)	--	
受講不可	おわりに	--	

### (1) 映像教材による学習

#### ① 「講義」をクリックする



②再生ボタンをクリックする（映像がスタートします。）

③映像を最後まで視聴したら、「終了」をクリックする

（「戻る」をクリックするとカリキュラム一覧に戻ることができます）

### (2) 理解度テスト

#### ① 「理解度テスト」をクリックする



②問題に回答し、画面上の「採点」をクリックする

（テストの採点結果（点数）がメッセージで表示されます）

③上記表示を消去すると、各問題の自身の解答に対する採点結果が表示されるので、正解か不正解か確認する

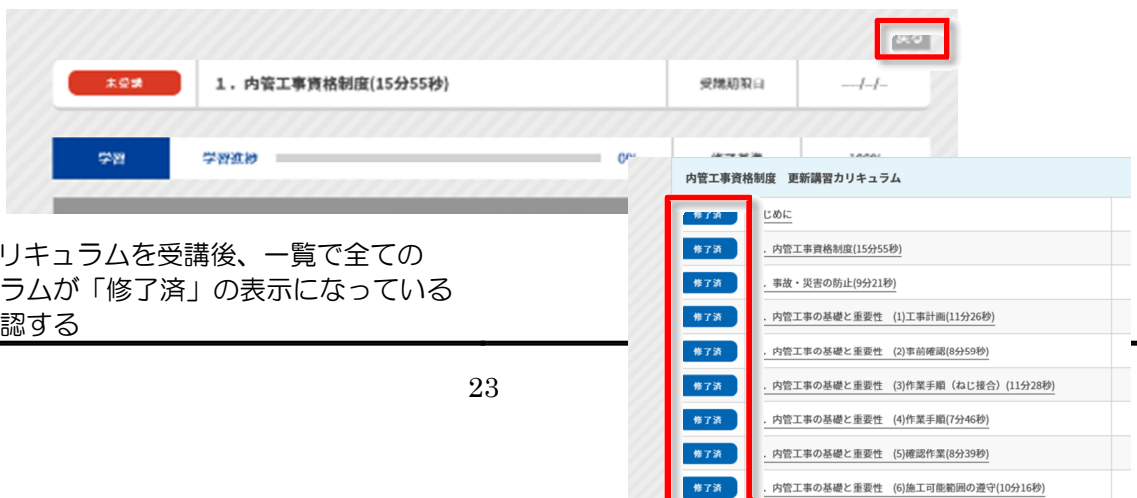
（自身の解答が「●」にて表示され、「●（青色）」が正解で、「●（赤色）」が不正解です。）

④画面上の「解説」をクリックし、解説を確認する

（正解の選択肢「●（青色）」と解説が表示されます）

⑤「終了」をクリックする

⑥「戻る」をクリックし、カリキュラム一覧に戻る



## 6. 全てのカリキュラムを受講後、一覧で全てのカリキュラムが「完了済」の表示になっていることを確認する

※その他詳細は e ラーニングの受講マニュアルをご参照ください。

#### (6) 注意事項

- 全てのカリキュラムを受講してください（各カリキュラムの受講に要した時間を記録しております）。
- 初めてログインしたときは「はじめに」のみがクリックできるようになっています。各講座の修了条件を満たすと、次の講座名をクリックできるようになります。
- 全てのカリキュラムを1日で学習しようとする、非常に長時間（映像教材と理解度テストで合計約8時間）になりますので、すきま時間などを利用して、少しずつ学習していくことをお勧めします。（学習例：1日約1時間ずつ学習し、8日間で全てのカリキュラム受講完了）

#### (7) 受講環境がない方

##### (a) 映像教材及び理解度テストの入手

- 会場での講習受講日の約1か月前に、申込ガス事業者から映像教材のDVDを借りて下さい。

##### 【申込ガス事業者へのお願い】

- 受講環境がない方の受講申込があった場合、運営機関から申込ガス事業者へ映像教材のDVDを貸し出しますので、該当の受講者に貸し出して下さい。
- 誰にDVDを貸し出したか確実に管理し、受講期間を終えたら約1週間を目途に受講者から回収して下さい。
- 既に申込ガス事業者へ貸し出したDVDが受講期間を過ぎている状態で、新たに受講環境がない方の受講申込があった場合は、その保有しているDVDを該当の受講者に貸し出して下さい（複数の受講者の受講期間が重複している場合以外、基本的に追加の貸し出しは行いません）。
- 映像教材の更新がある場合等、DVDを回収させていただきますので、申込ガス事業者にて適切に保管・管理頂きますようお願いいたします。

- 申込ガス事業者から理解度テストを入手して下さい。

##### 【申込ガス事業者へのお願い】

- 受講環境がない方の受講申込があった場合、運営機関から申込ガス事業者へ理解度テストの冊子をお送りしますので、該当の受講者にお渡し下さい。

##### (b) 講習テキストの入手

- 映像教材による事前学習の際に講習テキスト（「制度編・基礎編」、「実務編」ともに）を使用しますので、事前に入手して下さい。

- ・講習テキストの購入方法は35ページ「V. 3. 講習テキストの購入申込み」をご参考ください。なお、既に講習テキスト（表紙に[2018年3月改訂]とあるもの）を所有している場合は、新たに購入する必要はありません。

(c) 受講期間

- ・会場での講習受講日の約1ヶ月前から、会場での講習初日までに受講してください。

(d) 受講方法

- ・映像教材を視聴し、カリキュラムごとに理解度テスト（問題編）を実施してください。理解度テストを実施した後、理解度テスト（解答編）で解答の解説を確認し理解を深めてください。

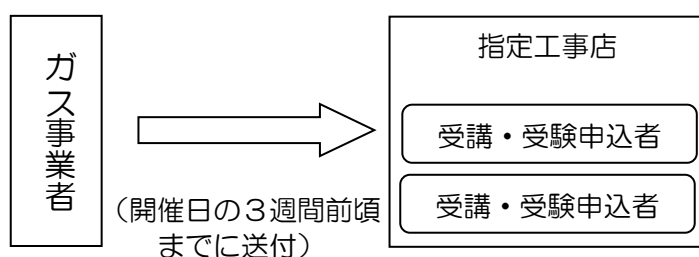
(e) 注意事項

- ・模擬試験はありませんので、ご了承ください。
- ・会場での講習受講後、約1週間を目途に申込ガス事業者映像教材のDVDを返却してください。

## 5. 受講・受験票の送付

(1) 受講・受験票の送付

受講・受験票は、各講習・資格試験の開催1ヶ月から3週間前頃までに、申込ガス事業者が資格管理システムより印刷をし、指定工事店宛へ送付します。〈操作ガイド 4.受講・受験受付-21参照〉



講習・資格試験の開催10日前になっても受講・受験票が到着しないときは、申込ガス事業者までお問い合わせください。また、受講・受験票を紛失した場合も同様です。

(2) 受講・受験票の取扱い

(a) 受講・受験票が届いたときには、申込資格区分、開催講習機関、開催会場、開催日時、材料・道具の準備に関する条件を必ず確認してください。また、受講・受験票裏面に記載された、受講・受験に関する注意事項についても必ず確認してください。

(b) 受講・受験票は大切に保管し、受講・受験当日に持参してください。受講・受験票を持参しない場合には受講・受験ができないことがあります。



- (c) 受講・受験に関する一切の事務処理は受講番号又は受験番号に基づいて行いますので、受講番号又は受験番号は必ず別に控えておいてください。
- (d) 受講・受験票は、講習・資格試験の終了後も合否結果が届くまで大切に保管してください。

## 6. 合否の発表

- (1) 講習の修了者及び資格試験（実技試験）の合格者に対しては、資格証を発行し、申込ガス事業者宛に送付します。（この場合、合格通知は発行されません。）
- (2) 資格試験（筆記試験）の合格者、及び基本資格と付加資格を同時に受講した場合の付加資格のみの合格者に対しては、合格通知を発行し、申込ガス事業者宛に送付します。
- (3) 講習の未修了者及び資格試験の不合格者に対しては、不合格通知を発行し、申込ガス事業者宛に送付します。
- (4) 上記(1)、(2)、(3)のいずれについても、講習又は資格試験の開催日から1ヶ月程度で結果を通知する予定です。

## 7. 受講・受験会場の変更等

講習機関が設定する定員を超えた申込みがあった場合、又は講習機関が準備可能な材料・道工具数を超えた申込みがあった場合などには、受講・受験の申込みをお断りさせていただくことがあります。なお、受講・受験申込者との調整により、次のような変更をさせていただくこともあります。

- (1) 他の開催日時での受講・受験
- (2) 他の開催講習機関・開催会場での受講・受験

## IV. 受講・受験に必要な書式の作成について

### 1. 受講・受験申込書を記入する際の注意事項

受講・受験に必要な書式は、次の事項及び工事店向け説明資料をよく読んで、誤りのないように注意してください。

- (1) 受講・受験に必要な書式については、14～16ページの「Ⅲ. 講習・資格試験の申込方法」の「1. 受講・受験に必要な提出書式類」をご参照ください。
- (2) 記載事項は、下記(3)～(22)及び記入例（31ページ）を参考にしてください。

#### <共通事項>

- (3) 申込書の作成はガス事業者の担当者に最新の様式を入手してください。
- (4) 申込者の所属する指定工事店が“指定工事店名”と“代表者名”を記入し、ガス事業者が“申込年月日”、“指定工事店コード”、“ガス事業者名”、“代表者名”を記入してください。なお、“受講・受験要件の証明（所属指定工事店）”欄には、指定工事店名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）を記入、“受講・受験要件の証明（所属ガス事業者）”欄には、ガス事業者名及び代表者名（内管工事部門の責任者等の氏名）を記入してください。
- (5) 受講・受験要件によらず、既に内管工事士資格を有している方は資格番号を記入してください。

- (6) 複数のガス事業者や指定工事店に所属する工事人が、初めて内管工事士を受講もしくは受験する際、申込時の手続きにより資格取得と同時に複数ガス事業者に所属することができます。同時所属を希望する場合、講習受講申込書又は資格試験(実技試験)受験申込書の下段にあるチェック欄に記入してください。このとき、受講申込と同時(1週間以内)に、申請ガス事業者以外に所属するガス事業者から登録事項変更の申請手続きをシステムより行ってください(資格番号の無い方が対象の手続きです)。資格を取得した際に交付される資格証には、登録されたガス事業者名が印刷されます。登録事項変更届の手続きが1週間以内にシステムにて行われない場合は同時所属の受付はできません。

【資格管理要領 旧様式2-2 登録事項変更届】の手続きは、講習等申込後に期限内にシステムにて登録手続きを行わない場合、後日【資格管理要領 旧様式2-2 登録事項変更届】と【資格管理要領 様式1 登録事項変更届兼資格証再交付申請書】をご提出いただき、有償(2,600円(税込み))にて資格証の再交付が必要になります。

受講・受験申込者が内管工事士資格保有者の場合は、所属するガス事業者や指定工事店が、すでに登録されているので、【資格管理要領 旧様式2-2 登録事項変更届】は、上位資格の取得時にシステムによる手続きはできません。

- (7) (6)の場合に添付する【資格管理要領 旧様式2-2 登録事項変更届】は、申込者ごとにシステムより申請してください(資格番号は不要)。

- (8) 写真画像は、申込日前6ヶ月以内に、脱帽して撮影したもの、背景が無地(タテヨコ比4:3)のものを1枚用意し、資格試験受験申込書(Excel様式)に画像をJPGファイルとして添付してください

この写真が資格証の写真となります。資格証に印刷した際に本人確認しづらくなる写真は使用できません。正面を向いた目元の鮮明な顔写真画像を添付してください。

写真の不備の事例を確認し、写真を用意してください。(◎お申込みに使用する写真について◎ 29ページ 参照)

- (9) 受講・受験を希望する回次、講習の開始日(又は資格試験の試験日)及び講習機関名を記入してください。

- (10) 該当する受講・受験要件の左欄に○印を記入してください。資格試験(筆記試験)受験申込書の場合は、該当する資格区分の欄に○印を記入してください。

- (11) 振込みの控えは講習受講申込書(Excel様式)に画像をJPGファイルとして添付してください。

※公的資格の写しを貼付する場合は、講習受講申込書(Excel様式)に画像をJPGファイルとして添付してください

※なお、受講・受験料を指定工事店等が複数の申込書の分をまとめて振り込んだ場合は、振込みの控えは「受講料を納付したことを証する書面(振込みの控え)」の画像をJPGファイルとして内訳となる全ての申込様式に添付して下さい

※本内訳書(Excel様式)を該当する受講申込全てに添付してください。(入金確認作業に必要です)

- (12) 個人情報の取扱いについては、「Ⅶ. 個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

<講習（第3種、第2種、第1種、内管溶接管理士）を申し込む場合>

- (13) 該当する受講要件によっては、講習受講申込書の裏面にある「内管工事等に関する実務経歴書」欄及び「誓約書」欄への記入が必要です。
- (14) 実務経験に代わる公的資格を要件として受講する方は、公的資格の免状又は資格証の写しを講習受講申込書(Excel 様式)に画像を JPG ファイル (PDF 可) として添付してください
- (15) 講習に使用する材料・道工具について、開催回次により持ち込みの可否が定められています。その定めに従い、“講習機関が準備するものを使用する”又は“受講者が講習機関に持参する”のどちらかに必ず〇印を記入してください。ただし、第1種内管工事士資格保有者が内管溶接管理士講習を受講する場合は、“道工具不要”に〇印を記入してください
- (16) 第2種内管工事士を申し込む場合は、eラーニングの受講環境が整っているかを受講環境確認サイトで確認し、“eラーニングの受講環境がある”又は“eラーニングの受講環境がない”のどちらかに必ず〇印を記入してください。受講環境の確認方法は19ページ「Ⅲ. 4. eラーニングの受講 (1)受講環境の確認」をご参照ください。
- (17) 内管溶接管理士の講習を申し込む際に、受講要件として実務経歴書が必要な場合は、「溶接配管工事に関する実務経歴書（様式3）」を講習受講申込書(Excel 様式)に画像を PDF として添付してください。

<講習（ねじ工事、活管工事、低圧溶接）を申し込む場合>

- (18) 低圧溶接を申し込む場合、受講要件によっては、講習受講申込書にある「内管工事等に関する実務経歴書」欄及び「誓約書」欄への記入が必要です。
- (19) 講習に使用する材料・道工具について、開催回次により持ち込みの可否が定められています。その定めに従い、“講習機関が準備するものを使用する”又は“受講者が講習機関に持参する”のどちらかに必ず〇印を記入してください。ただし、低圧溶接講習を受講する場合は、記入する必要はありません。

<資格試験（筆記試験）を申し込む場合>

- (20) 該当する受験要件によっては、資格試験（筆記試験）受験申込書にある「内管工事等に関する実務経歴書」欄及び「誓約書」欄への記入が必要です。
- (21) 実務経験に代わる公的資格を要件として受験する方は、公的資格の免状又は資格証の写しを講習受講申込書(Excel 様式)に画像を JPG ファイル として添付してください。

<資格試験（実技試験）を申し込む場合>

- (22) 実技試験に使用する材料・道工具について、開催回次により持ち込みの可否が定められています。開催回次情報に従い、“講習機関が準備するものを使用する”又は“受験者が講習機関に持参する”のどちらかに必ず〇印を記入してください。

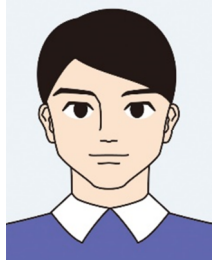


◎お申込みに使用する写真について◎

申込の電子申請化に伴い、原則、写真はデータにてご用意いただきます（顔写真は資格証の写真となります。）。以下の点、ご注意ください。

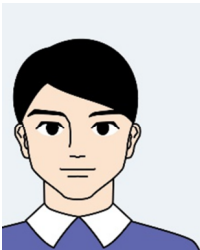
- ・縦横比 4：3 で撮影してください。
- ・顔写真の推奨サイズは「300×400pixel」サイズ（300dpi程度）です。画像ファイル情報の「サイズ」を確認してください。
- ・顔写真の背景の空間が大きくなりすぎないように撮影してください。
- ・証明写真機を使用する場合は 運転免許証用 のものを指定してください(30mm x 24mm)。
  
- ・6ヶ月以内に撮影したものであること。
- ・上三分身 胸から上の写真。
- ・正面向きで、帽子・サングラス・マスクをつけていないもの。
- ・背景や影がなく、背景の色は白または薄い色のもの。
- ・目を開き、白目黒目の境目が見えていること。

【正しい写真の例】

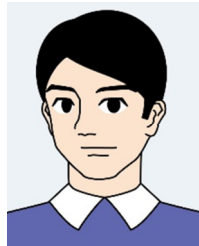


【不備となる写真の例】（申込書を返却させていただきます）

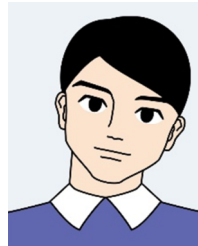
位置の片寄り



顔が斜め向き



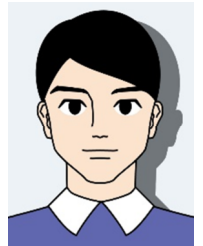
顔に傾き



椅子などの背景有



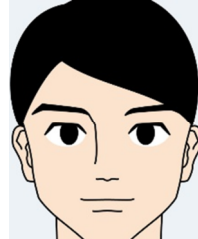
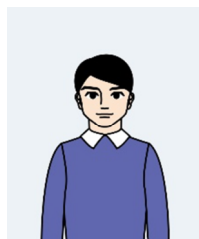
背景に影



背景に柄がある



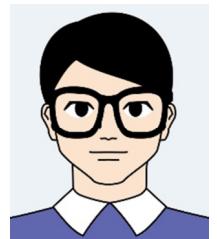
既定のサイズでない  
小さい例                      大きい例



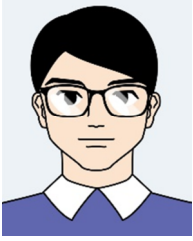
眼鏡のフレームが  
目にかかっている



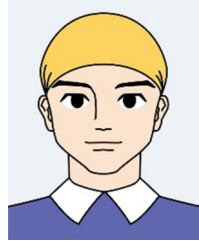
フレームが太く  
顔を覆っている



眼鏡に反射有



頭部が大きく隠れる



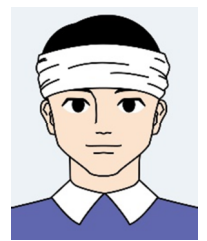
帽子着用



サングラスの着用



顔の一部隠れ



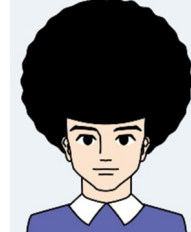
前髪が目にかかる



マスクなどで  
顔が隠れる



頭髪が大きく  
顔の面積が小さい



メガネでぼやける



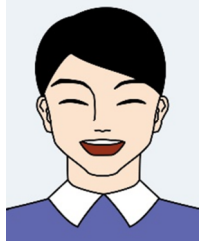
目の開きが  
小さいもの



赤目のもの



表情が大きい



顔に影



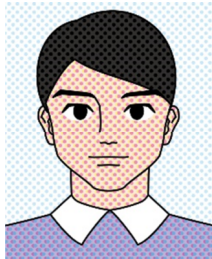
ブレ・不鮮明



画像の乱れ



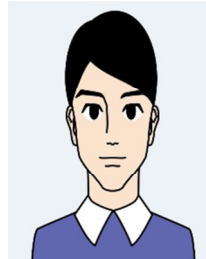
ドットが入っている



ギザギザになる



画像処理での変形



汚れが多い



色味が不自然





## 2. 講習受講申込書式記入例

### 記入例

受講申込者は本書と「説明資料【工事店向け】」を確認の上、手続きをしてください。

2024年版の様式以外は受理できません


※青色のついたセルは全て記入してください  
※ピンク色のセルは該当者のみ必ずご記入願います

様式1(第2種用)(2023)

第2種内管工事事・講習  
申込年月日 2024年 2月 14日

### 講習受講申込書(第2種内管工事事)

一般社団法人 日本ガス協会  
内管工事資格運営委員会 商中

フリガナ	アカバネ	三郎	
申込者氏名	赤羽	三郎	
生年月日(西暦)	1980年 12月 23日		
資格番号			

講習機関名 新橋保安センター

講習に使用する材料・道具について (必ずどちらかに印をしてください)  
 講習機関が準備するものを使用する  
 受講者が講習機関に持参する

eラーニングの受講環境について (必ずどちらかに印をしてください)  
 eラーニングの受講環境がある  
 eラーニングの受講環境がない  
※事務手数料として受講料に1,100円/人(税込)上乗せされます

受講要件(第2種内管工事事) 該当する受講要件の左欄に印を1つ記入してください

<input checked="" type="radio"/> 1. 内管工事事のもとして、もしくは第3種内管工事事として計6ヶ月以上の実務経験 <sup>(注1)</sup> を有し、かつ受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>(注2)</sup> を有している <small>※1. 内管工事に従事した具体的な実務経験(現場名等)を裏面に必ず記載してください。 ※2. 受講にあたっては裏面に記載されている知識・技能を有していることが必要です。</small>
<input type="radio"/> 2. 過去に第2種もしくは第1種内管工事事の資格を保有していたことがあり、かつ現在、受講者として資格種に見合った一定の知識・技能 <sup>(注1)</sup> を有している <small>※1. 受講にあたっては裏面に記載されている知識・技能を有していることが必要です。</small>
<input type="radio"/> 3. 実務経験に代わる公的資格を有している <small>(注1)公的資格の免状又は資格証の写しが必要。詳細は「受講・受験案内」を必ず読みます。</small>

上記受講要件を満たしていることを証明します。

指定工事店コード	9999	ガス事業者コード	G999
指定工事店名	エンジニアリング虎ノ門株式会社	ガス事業者名(申込ガス事業者名)	虎ノ門ガス株式会社
代表者名(責任者名)	設備 保人	代表者名(責任者名)	保安 満男

同時所属ガス事業者名  
(申込ガス事業者以外で同時に所属するガス事業者がある場合は全てご記入願います)

本人同意欄  私は本資格取得時点で複数ガス事業者に所属するため上記ガス事業者へ本書を通知します。  
(注2) 記載の内容がシステムに反映されますので、所属している工事店が複数ガス事業者と取引がある場合は、そのすべてのガス事業者に資格情報が共有されます。  
(注3) 申込者が複数の工事店に所属する場合は、合わせて「登録事項変更届」を記入し、ガス事業者へ送付する必要があります。

写真は本人確認ができる目元の鮮明な写真を使用する。  
jpgファイルで用意し、「顔写真添付ボタン」で添付。

eラーニングの受講環境の有無を選択。

“受講要件の証明(指定工事店)”欄は、指定工事店にて指定工事店名及び代表者名(内管工事部門の責任者等)を記入。

資格取得と同時に複数のガス事業者に所属する場合には、上記のチェック欄を記入のうえ、当該申込書のガス事業者以外の他ガス事業者へ本申込について通知してください。通知されたガス事業者がシステムにて採用登録した場合、資格証にガス事業者名が記載されます。)概ね、1週間程度で届出が無い場合、同時登録は不可となります(資格取得後、資格証再交付が必要(手数料が必要となります))。

“受講要件の証明(ガス事業者)”欄は、ガス事業者にてガス事業者名及び代表者名(内管工事部門の責任者等)を記入してください。

**実務経歴書**

内管工事士のもと、または内管工事士として従事した現場名を記載してください。その際、従事した現場の施工内容の概要が分かるように可能な限り記載してください。

様式1(第3種用)(2024)

※1. 内管工事等に関する実務経歴書

申請中に記入する必要がある以下の項目を必ず入力してください。内管工事士のもとで6ヶ月以上の実務経験を有しています。

現場名	現場所在地	工事期間
1 山之内邸内管増設工事	東京都港区赤坂	2017年10月 ~ 2018年2月
2 虎ノ門保安ビル 新設工事	東京都港区虎ノ門	2019年1月 ~ 2019年11月
3 新橋西口ビル増設工事	東京都港区西新橋	2019年5月 ~ 2019年7月

(注) 1. 記載事項は、申請内容に限り記載すること。番・号(街区番号、住居番号)などの記載は不要です。

記入方法や注意事項の詳細は「受講・受験案内」を必ずお読み願います。

**「内管工事等に関する実務経歴書」に対する誓約書**

実務経歴書記載事項が事実であることを誓約します。相違があった場合、取得資格を取り消されても異存ありません。  
※記載事項に相違がなかった場合でも、講習の進行に影響を与える技能レベルの方が受講し影響を与えた場合は、ガス事業者を通じて当該受講者の履歴について詳細を確認する場合があります。

本人同意欄

「内管工事等に関する実務経歴書」の内容（実務経験期間、現場名、現場所在地、工事期間）が事実であることを誓約していただきます。虚偽の申請に対しては資格取り消し措置となることをご理解いただき、申込者がチェックしてください。

<p><b>【都市ガスの基礎】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市ガスの種類と性状</li> <li>建物区分と保安対策</li> <li>マイコンメーターの構造/機能</li> <li>都市ガス警報器</li> <li>ガス栓と燃焼機器の接続</li> <li>給排気設備及び安全装置</li> </ul> <p><b>【内管工事の基礎】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計図書の読み方</li> <li>内管工事の基本事項</li> <li>配管材料と接合方法</li> <li>配管工事、支持</li> <li>ガス配管の防食</li> <li>ガス栓、接続具の設置</li> <li>取出工事/撤去工事</li> <li>気密試験と既設配管の漏えい有無確認</li> </ul>	<p><b>【フレキ管】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレキ管のはくり/切断および片ねじソケット/ガス栓等との接続</li> <li>フレキ分岐サドルを使用したガス栓の増設</li> <li>露出型ガス栓の設置</li> <li>強化ガスホース/機器接続ガス栓を使用した、ガス栓と燃焼機器の接続</li> </ul> <p><b>【鋼管】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ねじ継手類による接続</li> </ul> <p><b>【総合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイコンメーターの休止/起動操作、取付/取外し</li> <li>適正な手順、時間、圧力での気密試験と漏えい有無確認</li> <li>漏えいがあった場合の発泡液による漏えい箇所特定</li> </ul>
---	--

**「受講までに必要な知識・技能」に対する誓約書**

受講までに必要な知識・技能を有した上で受講します。

本人同意欄

振込手続きした金融機関コードと金融機関名を記入してください。

振込手数料の管理、資格制度改善のための分析等)のためにのみ用います。

本人同意欄

↓全角カタカナ ○○文字まで(振込人・名義名/金融機関名とも)

振込人名(振込名義)	エンジニアリングトラモン(カ)
金融機関コード	0009
振込元金融機関	ミツビシ
入金日	2021年2月2日
受講・受験料	53400 円

振込先金融機関

振込先金融機関	支店名	種別	口座番号
三菱UFJ銀行	シムラサカウエ(648)	フ	1156767

振込先名義名 イチサイニホンガスキケンサキヨウカイ ナイカンコウジシカクグチ

振込票の控えを添付しました。  
(詳細は受講・受験案内でご確認ください)

本人確認欄

確認 CSV出力 顔写真添付 その他ファイル添付 その他ファイル削除 ファイル出力

【様式1】講習受講申込書(第3種内管工事士) (添付) 顔写真 (添付) 1

①最後に[確認]ボタンを押してください。未記載の内容がある場合は順に表示されます。

②[確認]ボタンを押して→のメッセージが表示されたら提出可能となります。

Microsoft Excel ×  
入力チェックが完了しました  
OK

[(添付)顔写真]に顔写真jpgファイルと[(添付)1]に振込控えが添付されていないとエラーとなります。



## V. 受講・受験者の注意すべき事項

### 1. 講習を受講する際の注意事項

- (1) 講習テキスト（「制度編・基礎編」、「実務編」ともに）を事前に入手し、講習当日に持参してください。講習テキストの購入方法は35ページ「V. 3. 講習テキストの購入申込み」をご参考ください。なお、既に講習テキスト(表紙に[2018年3月改訂]とあるもの)を所有している場合は、新たに購入する必要はありません。また、第2種内管工事士の資格取得講習は、講習当日までにeラーニングを受講する際に、講習テキストが必要になりますのでご注意ください。
- (2) 講習当日は、**受講票を必ず持参**してください。なお、受講票を持参しない場合には、受講できないことがあります。
- (3) 講習当日は、筆記用具（鉛筆又はシャープペンシルとプラスチック消しゴム）、電卓（電子卓上計算機）を必ず持参してください。ただし、修了試験時に電卓（電子卓上計算機）を使用することは認めません。
- (4) 講習会場によっては、**受講者用の駐車場がない場合があります**ので、その場合は、公共の交通機関を利用してください。各講習会場の詳細については、正会員通知サイト内の「会場案内図」をご参照ください。
- (5) 講習中は講師の指示に従ってください。指示に従わない場合は、講習中であっても退出してもらうことがあります。
- (6) 講習会場は禁煙です。喫煙は所定の場所で行ってください。
- (7) 実技講習を行う講習については、**長袖作業着、安全靴、保護帽（ヘルメット）、軍手を持参し、着用した上で受講**してください。なお、**長袖作業着、安全靴、保護帽（ヘルメット）、軍手を持参しない場合には、事故防止のため、受講することはできません**。（貸出しは一切行いません。）
- (8) 受講者が材料・道工具を持参して受講する場合は、必要な材料・道工具を確実に持参してください。持参した材料・道工具に不足があった場合でも、貸出しは一切行いません。なお、ガス事業者から受講票を送付する際に、受講に必要な材料・道工具の一覧を同封致します。
- (9) 修了試験（筆記試験・実技試験）の際、万一、不正があった場合は、**当該受講者は未修了**となります。なお、筆記修了試験の際に不正があった場合、当該受講者は実技修了試験を受験することはできません。
- (10) その他の修了試験（筆記試験・実技試験）に関する注意事項については、「**2. 資格試験を受験する際の注意事項**」をご参照ください。

- (11) 受講票は講習終了後、各自で必ず持ち帰って、合否結果が届くまで大切に保管してください。

## 2. 資格試験を受験する際の注意事項

### (1) 筆記試験・実技試験の共通事項

- (a) 試験当日は、試験実施にあたっての注意事項の説明を行うので、必ず**試験開始時刻までに試験会場に集合してください。**(遅刻した場合は、受験できない場合があります。)
- (b) 試験当日は、**受験票を必ず持参**してください。なお、受験票を持参しない場合には、受験できないことがあります。
- (c) **試験会場によっては、受験者用の駐車場がない場合があります**ので、その場合は、公共の交通機関を利用してください。各試験会場の詳細については、別冊の「会場案内図」をご参照ください。
- (d) 試験中は試験官の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不合格とみなして退出してもらうことがあります。
- (e) 試験会場は禁煙です、喫煙は所定の場所で行ってください。
- (f) 講習テキストや供給管・内管指針、ガス事業者の作業マニュアル等の**筆記試験・実技試験の参考となる資料の持込みは禁止**します。
- (g) 万一、不正があった場合は、**当該受験者の資格試験は不合格**となります。

### (2) 筆記試験の注意事項

- (a) 携帯電話等の通信機器は、試験会場内では必ず電源を切り、机の上には置かないでください。携帯電話等の通信機器は、時計としての使用も禁止します。
- (b) 指定された席で受験してください。それ以外の席で受験すると、欠席扱い又は不合格となる場合があります。
- (c) 試験室内での試験問題等の写真撮影は禁止します。
- (d) 筆記用具（鉛筆又はシャープペンシルとプラスチック消しゴム）、眼鏡、ルーペ、及び時計（時計機能だけのもの）は、筆記試験中に机の上に置くことができます。なお、筆記用具、眼鏡、ルーペ、及び時計等の貸出しは一切行いません。必要なものは全て持参してください。
- (e) 電卓（電子卓上計算機）、パソコン（電子計算機）、及び計算尺の持込み、使用は禁じます。

- (f) 万一、不正があった場合は、当該受験者の筆記試験は不合格となります。
- (g) 試験の解答用紙は、必ず提出のうえ、退場してください。受験者による解答用紙の持ち帰りは厳禁とします。
- (h) **受験票**は筆記試験終了後、各自で必ず持ち帰って、**合否結果が届くまで大切に保管してください。**

### (3) 実技試験の注意事項

- (a) 長袖作業着、安全靴、保護帽（ヘルメット）、軍手を持参し、着用した上で実技試験を行ってください。なお、**長袖作業着、安全靴、保護帽（ヘルメット）、軍手を持参しない場合には、事故防止のため、受験することができません。**（貸出しは一切行いません。）
- (b) 受験者が材料・道工具を持参して受験する場合は、必要な材料・道工具を確実に持参してください。材料・道工具に不足があった場合でも、貸出しは一切行いません。なお、ガス事業者から受験票を送付する際に、受験に必要な材料・道工具の一覧を同封致します。
- (c) 受験者が材料・道工具を持参して受験する場合は、指定された数量を超えた材料・道工具を試験会場に持ち込むことはできません。
- (d) **受験票**は実技試験終了後、各自で必ず持ち帰って、**合否結果が届くまで大切に保管してください。**

## 3. 講習テキストの購入申込み

- (1) 所属するガス事業者から専用の「講習テキスト購入申込書」【「資格取得要領」様式 11】を入手してください。
- (2) 太線枠内に必要事項を記入した上で、メールにより、「講習テキスト購入申込書」を運営機関に送付してください。メール送付先 [jia-naikan@jia-page.or.jp](mailto:jia-naikan@jia-page.or.jp)
- (3) 専用の「講習テキスト購入申込書」（最新版）以外による申込みは、**受付けません。**

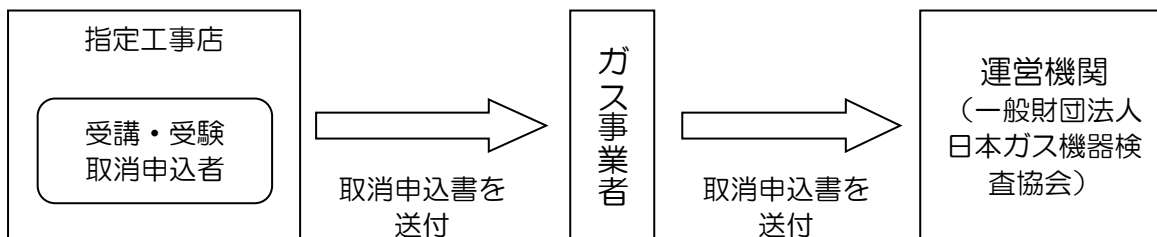
※受講する日の少なくとも 1 週間前までにお申し込みください。直前の場合、受講時に間に合わない場合がございます。

※テキストと同送の「請求書」をご確認の上、1 ヶ月以内にお支払いをお願いします。未納の場合、所属のガス事業者を通じてご連絡させていただく場合がございます。

※テキストのお申込み後、送料のみ着払いにて発送いたします。受け取りが可能な配達先としてください。

## VI.受講・受験の取消による返金について

〈受講・受験取消申込の場合の書類提出の流れ〉



(開催日の1ヶ月前必着)

### 1. 取消のための手続き

- (1) 受講・受験申込者は、やむを得ない事由で、講習・試験の取消を希望する場合、取消申込書(様式12)の原本をガス事業者を通じて速やかに運営機関へ送付してください。運営機関へのお電話による取消(キャンセル)の連絡、受講申込者や指定工事店からの直接の送付は、取消(キャンセル)できませんので、ご注意ください。(受講・受験取消申込の場合の書類提出の流れ参照)
- (2) ガス事業者が取消申込書(様式12)原本を、講習・試験開催日の初日から1ヶ月前の同日付(土日祝日の場合、「直前営業日」となります)必着で運営機関に送付し、運営機関で取消申込書の記入内容に不備がないことが確認できた場合は、運営機関は受領し、受講・受験申込の取消の手続きを行います。  
その場合は、受講・受験料から取消返金手数料11,000円(税込)を差し引いた金額を返金いたします。(取消返金手数料が受講・受験料を上回る場合は返金いたしません。)  
ガス事業者から運営機関に送付された取消申込書の書類の到着が1ヶ月前の同日付(土日祝日の場合、「直前営業日」となります)翌日以降になった場合は、返金できませんので、ご注意ください。
- (3) 講習・試験開催日の初日から1ヶ月前同日の翌日以降、受講・受験日当日までの取消に関しては取消申込書の送付は不要です。この場合、受講・受験料の返金はできません。  
ただし、受講・受験されない旨を所属のガス事業者を通して必ず運営機関へ連絡してください。
- (4) 事故防止のため、送付の際は簡易書留等配達記録が残る方法、もしくは到着日が確認できる方法で送付してください。
- (5) 取消申込書の記入内容を指定工事店、ガス事業者が確認しますので、受講・受験申込者は、早め手続きしていただくようお願いいたします。
- (6) ガス事業者は、指定工事店から送付された取消申込書の内容を確認し、運営機関(JIA内管工事士資格センター)へ送付してください。送付する際は、封筒の宛名の横に必ず【取消申込書在中】と記載してください。(宛名書式参照)
- (7) 取消申込書の必要事項の内容に記入が無い場合、あるいは、不備がある場合は、運営機関は受領できませんので、ご注意ください。
- (8) 運営機関が取消申込書を受領した後は、取消申込の撤回はできません。講習・資格試験の受講・受験を希望する場合は、改めてお申し込みください。他の回次への振替などの変更はできません。また、受講者・受験者の変更もできません。
- (9) 基本資格と同時申込の付加資格は基本資格の取消申込と同時に取消扱いとなります。取消申込書にどちらの回次も記入してください。その場合、それぞれの受講・受験料から取消返金手数料を差し引いた金額を返金致します。付加資格のみの取消申込は可能です。

(10) 返金は取消申込書に記入された金融機関口座へ振り込みます。振込日は、取消申込申書受付翌月の27日前後です。

(11) 取消申込書は内容確認等の問い合わせのため、控え（取消申込書の写し）を保管してください。

## 2. 宛名書式

切手	1 7 4 0 0 5 1
取消申込書在中	東京都板橋区小豆沢4-1-10 一般財団法人 日本ガス機器検査協会 (JIA) 内管工事士資格センター 行

### 3. 取消申込書記入例

## 記入例

申込ガス事業者にて記入してください。  
運営機関への到着は講習開催日の1ヶ月前  
(土日祝は直前営業日)までです。

※青色のついたセルは全て記入してください  
※ピンク色のセルは該当者のみ必ずご記入願います

申込年月日 2024 年 5 月 10 日

申込年月日はガス事業者にてご記入後、ご提出ください

## 取消申込書

申込者の氏名、生年月日を記入  
資格者の場合は資格番号を記入

人 日本ガス協会  
格認定委員会 御中

(フリガナ)	(姓)	アノノ	(名)	キンジ	生年月日(西暦)		
申込者 氏名	(姓)	小豆沢	(名)	勤二	1992	12	15 日
資格番号	←資格番号が無い場合は記載不要						

取消す回次番号と開催日を記入し  
てください。

回次(4ケタの数字)	講習の開催日(開始日) 再試験の申込も受取の開始日を記入	講習機関名
3022	8 月 25 日	板橋ガス
講習開催日1ヶ月前 (土日祝日の場合は直前営業日)		6 月 25 日

講習機関名、申込した材料道具  
の種別に○をつけてください。

同時(付)	回次(4ケタの数字)	講習の開催日(開始日)	材料・ 道具	講習機関名
6055	8 月 30 日		<input checked="" type="radio"/>	講習機関名
			<input type="radio"/>	受講者が講習機関に出席

申込取消の理由を記入してくだ  
さい。

申込取消理由: 長期入院のため

※すべての欄に記入してください

講習開催日の1ヶ月前(土日祝は  
直前営業日)の日付を記入してく  
ださい。この日付が返金手続き締  
切日となります(必着です)。

返金先の口座名義は正確に記入  
してください(誤りがある場合手  
続き保留となります)株式会社  
の場合、(カ) もしくは (カ)  
カブシキカイシャもしくは、カブ  
など正確に記入してください。

フリガナ	口座名義	金融機関名	銀行	銀行コード (4桁の数字)
ココクセツビ(カ)	港口設備株式会社	なつぞら		0909
支店名	本店営業部	支店	支店コード (3桁の数字)	555
口座種別	口座番号	1545465		
<input checked="" type="radio"/> 普通	<input type="radio"/> 当座			

金融機関名、支店名は  
コード番号も記入してください  
(インターネット等で検索できま  
す)。

工事店・ガス事業者ともに押印が  
必要です。(押印なき場合は、受取  
できません。返却となります。)

所属指定工事店	申込ガス事業者
指定工事店コード	ガス事業者コード
8888	G424
指定工事店名	ガス事業者名
港口設備株式会社	東西ガス株式会社
署名 (責任者名)	代表者名 (責任者名)
設備 節子	田中 智治

運営機関の記入欄  
です  
⇒

運営機関 記入欄	受領日	返金額 (受講・受験料(1申込)-11,000円)	受理番号	返金月	回次番号-件数(取消後/定員)	講習機関
		x	内消	月末	( )	( )
		円			( )	1・2

取消申込書

資格取得要領

## VII. 振替申請について（申込前に確認してください）

### 1. 振替申請のための手続き

- (1) 受講・受験申込者は、やむを得ない事由で、講習・試験の振替を希望する場合、下記(2)運用ルールに従い、ガス事業者へ連絡をし、別の空いている回次への振替希望を申し出て下さい。振替申請手続きは、システムによりガス事業者が行います。運営機関では、受講申込者や指定工事店からの振替申請の手続きは行っておりませんのでご注意ください。
- (2) 受講申込者あるいはガス事業者が本資格のための講習の受講及び試験の振替を希望する場合、受講申込者が指定工事店及びガス事業者を通じてガス事業者に振替申込手続きを依頼するものとし、この場合、次のとおり取扱いを行います。
- ①振替は申込をした回次開催初日の2ヶ月前同日（土日祝日の場合、「直前営業日となる」）までの申し出を受け、振替先は振替申請日の2ヶ月以降の開催日のうち回次で空きがあるものならば振り替え可能とします。
  - ②上記の場合については、振替手数料は無償とします。
  - ③振替許可回数は受講者1申込につき1回とし、振替先は同一年度内とします。

### 2. 振替申請後の注意点

振替申請の申し出後は、必ずガス事業者から振替結果の確認を行ってください。

## VIII. 個人情報の取扱いについて

### 1. 個人情報の管理について

提出していただいた受講・受験申込書（Excel 様式）等の個人情報は、適切に管理を行うとともに漏えい、滅失及び改ざん等の防止のために適切な措置を講じます。

### 2. 個人情報の利用目的について

提出していただいた受講・受験申込書等の個人情報は以下の目的のために利用します。また、あらかじめ申込者ご本人の同意を得ず、利用目的の範囲を超えて個人情報を取り扱うことはありません。

- (1) 講習・資格試験の円滑な運営に関する申込者情報の登録、管理のため
- (2) 講習・資格試験に関する受講・受験票、合格通知、不合格通知等の作成、配付のため
- (3) 講習修了者、資格試験合格者に対する資格証の発行、交付のため
- (4) 本資格制度の円滑な運営に関する内管工事士情報の登録、管理のため

## IX. 受講・受験の際の注意事項

参加当日（複数日程の場合は各日）、発熱、倦怠感、風邪症状などの変調を感じた場合は参加を取り止めていただくようお願いいたします。（申し込みのガス事業者及び運営機関までご連絡ください）

以上